

Capture NX-D 使用説明書

Ver. 1.4.7

Capture NX-D について

Capture NX-D でできること	3
Capture NX/Capture NX 2 で調整した画像処理を非表示にする	5
Capture NX-D の各部名称	6

画像を表示する

画像の表示方法	11
画像を比較表示する	14

画像を絞り込む

レーティングを付ける	16
ラベルを付ける	17
フィルターで表示する画像を絞り込む	18

画像を調整する

エディットについて	19
露出補正 (RAW 画像のみ)	21
ホワイトバランス (RAW 画像のみ)	22
ピクチャーコントロール (RAW 画像のみ)	23
トーン / トーン (ディテール)	25
調整ボタン	26
調整した内容を他の画像に適用する	35
調整した画像をファイル変換する	38

便利な機能

画像を切り抜く	39
画像内の不要なゴミを取る	41
複数の画像に同じ処理を適用する (バッチ処理)	42
画像を印刷する	44
情報を印刷する	45
インデックスプリントで印刷する	46
環境設定を変更する	47

メニューガイド

メニューガイド	51
---------------	----

- ✔ Windows 10 の画面を主に使用しています。
- ✔ 各ページの上にあるタイトルをクリックすると各タイトルの先頭ページが表示されます。  をクリックすると、このページが表示されます。
- ✔ 設定が初期設定であることを前提に操作を説明しています。

■ ご注意

- ・この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- ・使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

■ 商標について

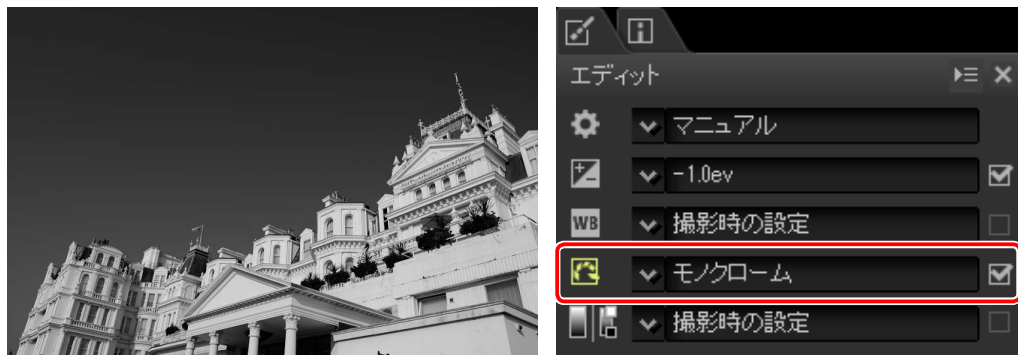
- ・Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・macOS および OS X は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Capture NX-D でできること

Capture NX-D では、画像の明るさや色味などの調整を行えます。また、ニコンのデジタルカメラで撮影した RAW 画像の調整や、ファイル変換を行うことができます。

画像を調整する

ホワイトバランスや明るさの設定などを簡単に行えます (P.19)。露出補正やピクチャーコントロールなど、一部の調整項目は RAW 画像に対してのみ適用できます。



調整した内容を他の画像に適用する

画像に加えた調整の内容を Capture NX-D に登録して、同じ調整を他の画像に適用できます (P.35)。調整の内容は設定ファイルとして保存でき、他のパソコンの Capture NX-D と調整内容を共有できます (P.37)。画像の調整は複数の画像に一括して適用 (バッチ処理) することもできます (P.42)。



調整した画像をファイル変換する

NEF または NRW 形式の RAW 画像を現像または調整した後に、JPEG または TIFF 形式にファイル変換できます (P.38)。JPEG または TIFF 形式に変換すれば、他のアプリケーションでも使用が可能です。

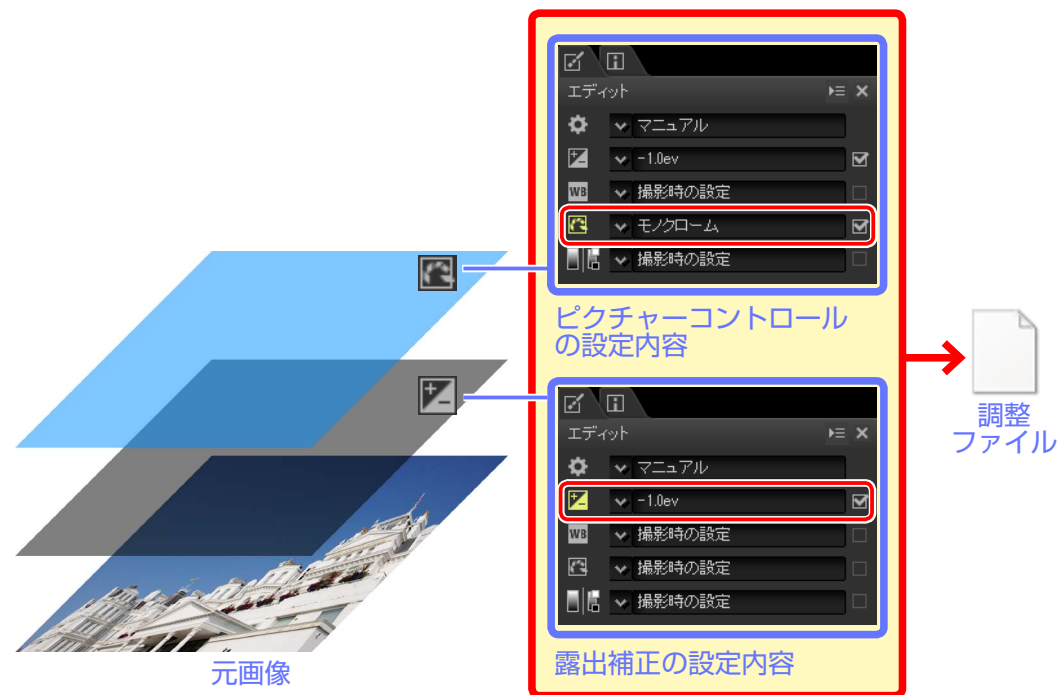


Capture NX-D でできること

Capture NX-D の画像調整について

■ 画像調整の概要

Capture NX-D で画像を調整すると、画像に加えた調整内容のみが調整ファイル（サイドカーファイル）として自動的に保存されます。調整ファイルは画像調整が行われるたびに更新されます。

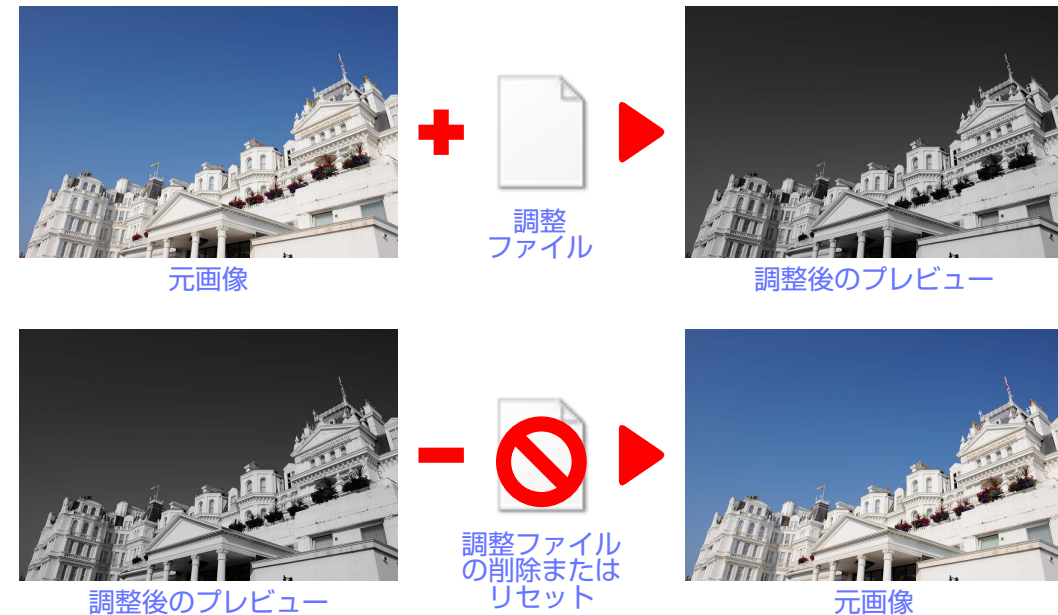


■ 調整ファイルについて

画像を調整すると、元画像と同じ階層に「NKSC_PARAM」というフォルダーが作成され、そこに調整ファイルが保存されます。フォルダーや調整ファイルを削除すると、調整内容は失われます。

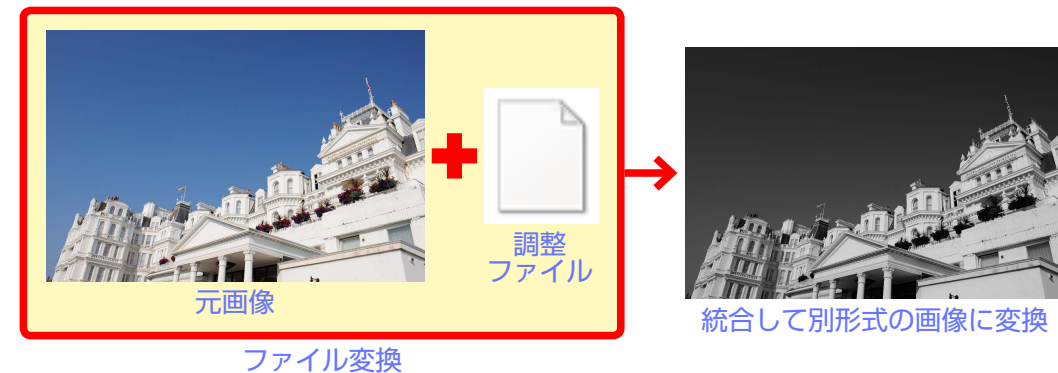
- 画像ファイルと調整ファイルは、ファイル名でひも付けされています。OS上でどちらか一方のファイル名を変更すると、調整内容が失われたり、他の画像に調整が適用されたりすることがあります。
- ViewNX-iで調整した画像を読み込むと、調整ファイルも一緒に読み込まれ、調整内容が保持された状態で画像が表示されます。

画像ファイル自体には変更を加えません。このため画像の劣化がなく、いつでも元の状態に戻すことが可能です。



■ 画像のファイル変換

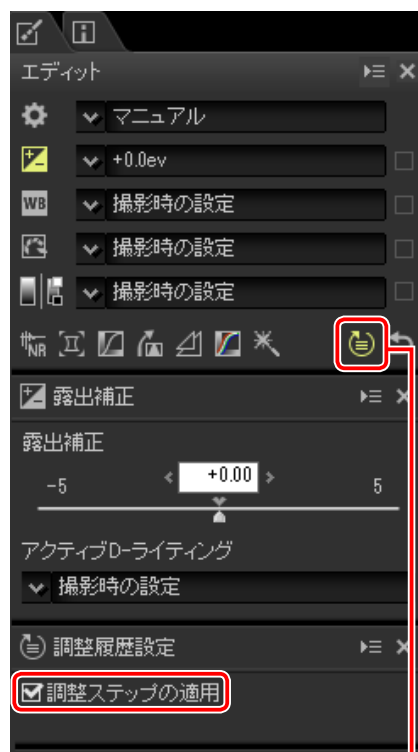
調整した画像を JPEG または TIFF 形式にファイル変換すると、画像と調整ファイルを統合してひとつの画像ファイルに保存されます。



Capture NX/Capture NX 2 で調整した画像処理を非表示にする

Capture NX または Capture NX 2 と連携して調整を行います。エディットタブ(P.8)の[調整履歴設定]ボタンをクリックすると、調整パレット(P.19)に[調整履歴設定]が表示されます。[調整ステップの適用]のチェックを外すと、画像の仕上がり意図に合わせて、Capture NX または Capture NX 2 で調整した画像処理を非表示にすることもできます。

- ・非表示にできる調整内容は次のとおりです。これらの画像には、サムネイルにアイコン(🔄)が表示されます。
 - Capture NX の [画像処理ステップ] の項目
 - Capture NX 2 の [調整] セクションの項目



調整履歴設定

- ・下の画像は、Capture NX 2 で [現像] セクションの [ピクチャーコントロール] と、[調整] セクションの [ぼかし (ガウス)] を調整しています。Capture NX-D で [調整ステップの適用] をオフにすると、[ぼかし (ガウス)] のみリセットされます。



[調整ステップの適用] : オン

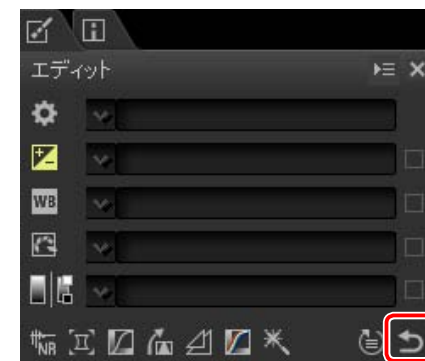


[調整ステップの適用] : オフ

■ Color Efex Pro で調整した画像処理を撮影時の状態に戻す

Capture NX または Capture NX 2 のプラグインソフト Color Efex Pro の機能が適用されている場合、Capture NX-D では画像調整が行えません。エディットタブ(P.8)の[撮影時の状態に戻す]ボタンをクリックすると、Color Efex Pro で行った調整内容がすべて画像撮影時の状態に戻り、Capture NX-D で調整を行えるようになります。

- ・Color Efex Pro の機能が適用された画像には、サムネイルに 🔄 アイコンが表示されます。



撮影時の状態に戻す

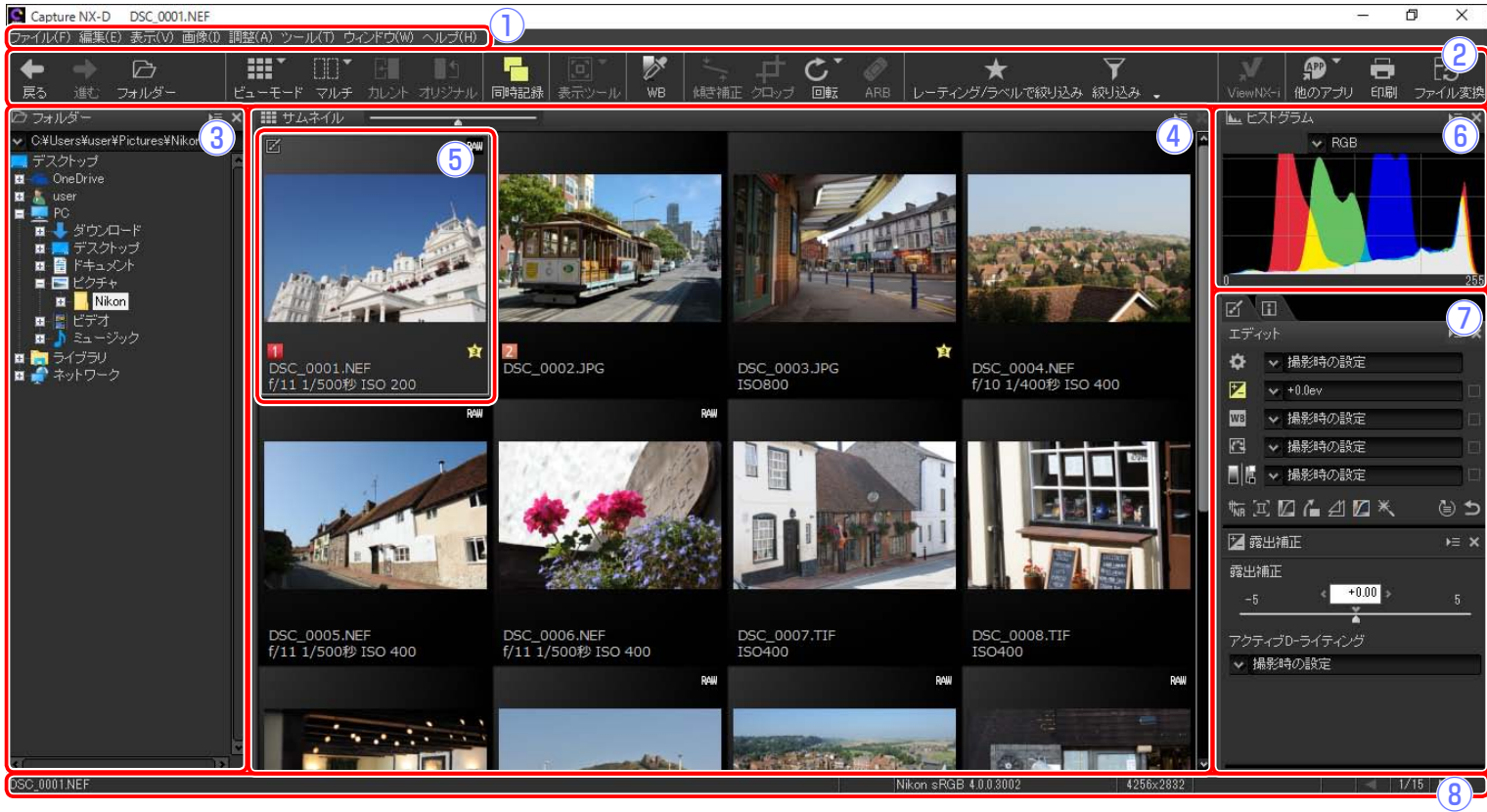
📌 [撮影時の状態に戻す] ボタンで撮影時の状態に戻した RAW 画像について

Capture NX-D の [撮影時の状態に戻す] ボタンで撮影時の状態に戻しても、Capture NX または Capture NX 2 で行った調整内容の情報は失われません。再度 Capture NX または Capture NX 2 で画像を開くと、最後に保存した状態に戻ります。Capture NX-D で適用した調整は、Capture NX または Capture NX 2 には反映されません。

📌 Capture NX / Capture NX 2 で NEF 形式に変換した画像について

JPEG または TIFF 形式の画像を Capture NX / Capture NX 2 で NEF 形式に変換した画像の場合、Capture NX-D では JPEG または TIFF 形式の画像として扱われます。露出補正(P.21)やホワイトバランス(P.22)など、RAW 画像のみ適用可能な調整は行えません。

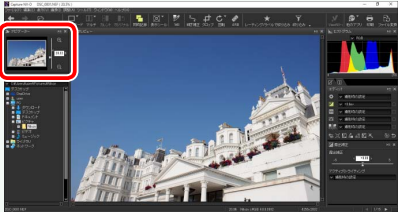
Capture NX-D の各部名称



① メニューバー	各種メニューを選べます。	P.10
② ツールバー	画像の表示方法を選んだり、画像の調整を行うツールを選んだりできます。	P.9
③ フォルダー	画像表示エリアに表示するフォルダーを階層表示できます。	P.7
④ 画面表示エリア	調整できる画像が表示されています。	—
⑤ 現在選ばれている画像	背景のグレーが明るくなっている画像が、現在選ばれている画像です。ダブルクリックすると、画像がプレビュー表示 (P.11) になります。なにか調整が加えられている画像の場合、サムネイルの左上にアイコン (🔍) が表示されます。	—
⑥ ヒストグラム	現在選ばれている画像の階調を表示します。	P.7
⑦ エディット / メタデータ	エディットパネルでは、選んだ画像に調整を行います。メタデータを表示を切り換えると、画像の各種情報が表示されます。	P.8
⑧ ステータスバー	現在選ばれている画像の情報を表示します。	P.10

🔍 ナビゲーター

サムネイルをダブルクリックして画像をプレビュー表示にすると、「ナビゲーター」 ([P.7](#)) が表示されます。

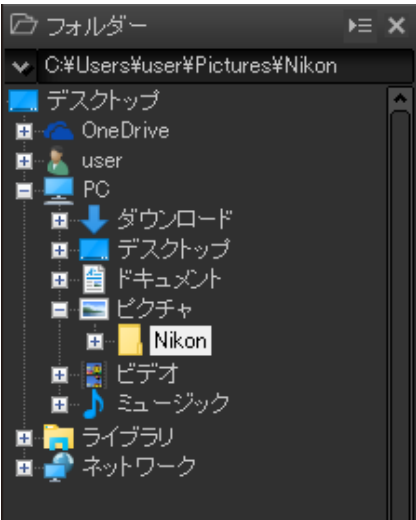


Capture NX-D の各部名称

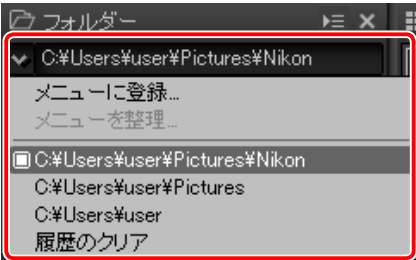
パレット

■ フォルダー

パソコン内のフォルダーを階層表示します。表示したい画像が収められたフォルダーをクリックすると、画像表示エリアにサムネイルまたはプレビューが表示されます。



- フォルダーメニューでは、履歴からフォルダーにアクセスしたり、よく使うフォルダーを登録したりできます。



フォルダーメニュー

各パレットのメニューについて

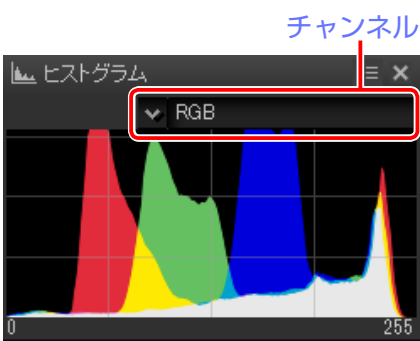
パレット右上の をクリックすると、パレットメニューが表示されます。[フローティングウィンドウとして表示] を選べると、各パレットが独立して表示されます。

■ ヒストグラム

サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビューで表示されている画像のヒストグラムをリアルタイムで表示します。

チャンネルメニューから表示するヒストグラムのチャンネルを選びます。ヒストグラムには、選択したチャンネルだけの情報が表示されます。

- [RGB] では、[赤]、[緑]、[青] のヒストグラムが相互に重なって表示されます。ヒストグラムが重なるところは、他の色が表示されます。シアン領域は [緑] と [青]、マゼンタ領域は [赤] と [青]、黄色領域は [赤] と [緑] が重なっていることを示します。白い領域は、3つの色のピクセル数がすべて同じことを示します。



■ ナビゲーター

サムネイルをダブルクリックしてプレビュー画面が表示されると、フォルダーの上部にナビゲーターが表示されます。プレビューに表示されている画像の縮小画像を表示します。

- プレビューに表示されている画像を拡大または縮小するには、 または をクリックするか、ズームバーをドラッグして動かします。また、テキストボックスに拡大率を直接入力することもできます。
- プレビューを拡大表示すると、拡大表示中の部分が枠で囲んで表示されます。枠をドラッグすると、プレビューに表示される拡大部分を動かせます。

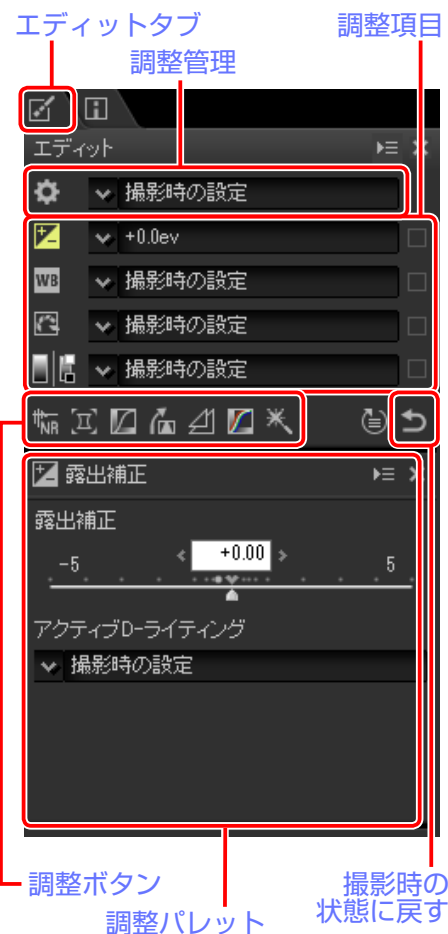


Capture NX-D の各部名称

■ エディット

サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビューで表示されている画像の調整を行います。

- 調整項目 (P.19) では [露出補正]、[ホワイトバランス]、[ピクチャーコントロール]、[トーン/トーン (ディテール)] をプルダウンメニューから選んで調整できます。
- 調整項目内の各項目のアイコンや、調整ボタン (P.20) をクリックすると、調整パレット (P.19) の表示が切り替わり、各項目の細かい調整を行えます。
- 調整管理 (P.20) では、調整の内容をコピーして他の画像に貼り付けたり、複数の調整項目の調整内容をプリセットマニュアルとして登録して他の画像に適用したりできます。
- [撮影時の状態に戻す] ボタンをクリックすると、Capture NX-D で行った調整内容を破棄して画像撮影時の状態に戻します。ただし他のアプリケーションなどで修正を加えた JPEG または TIFF 画像の場合は、保存時の状態に戻します。

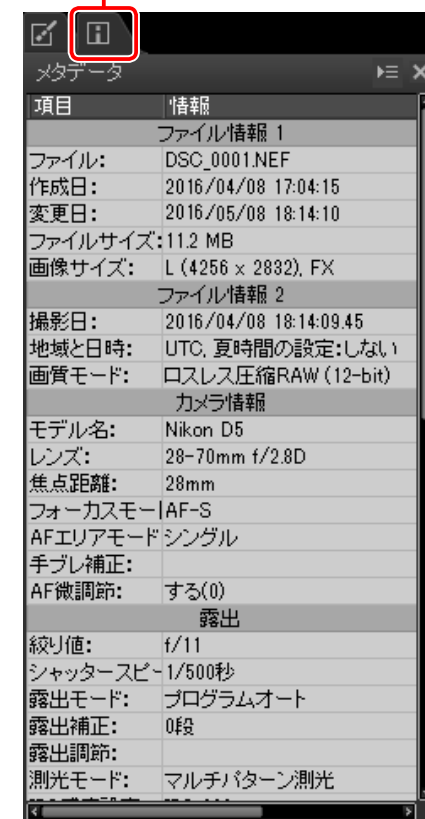


■ メタデータ

カメラのモデル名、撮影日時、露出など、サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビューで表示されている画像に関連する情報が表示されます。

- パレットメニューの [メインウィンドウの左側に配置する] を選ぶと、フォルダーパレット (P.7) の位置にメタデータパレットが移動します。

メタデータタブ



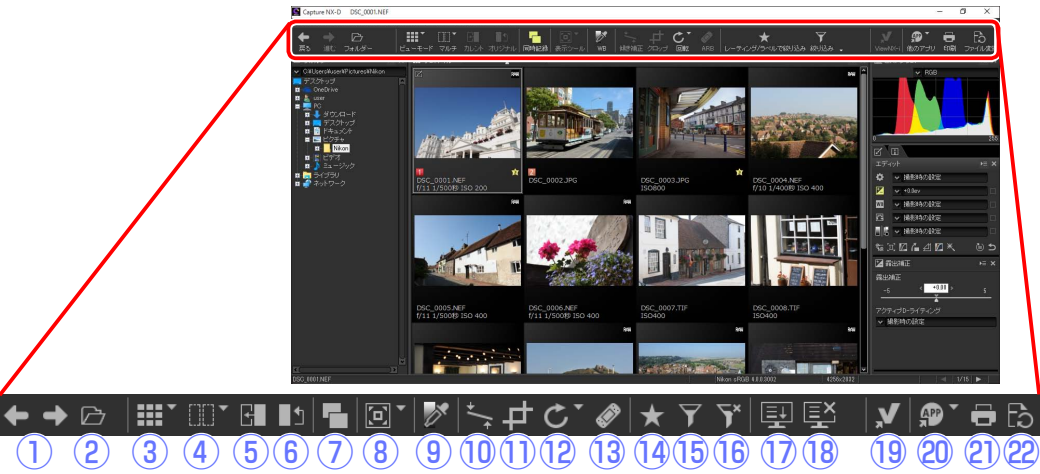
■ パネルの切り換え

エディットとメタデータを切り換えるには、エディットタブまたはメタデータタブをクリックします。

Capture NX-D の各部名称

ツールバー

画像の表示方法を設定したり、画像調整のツールを選んだりできます。



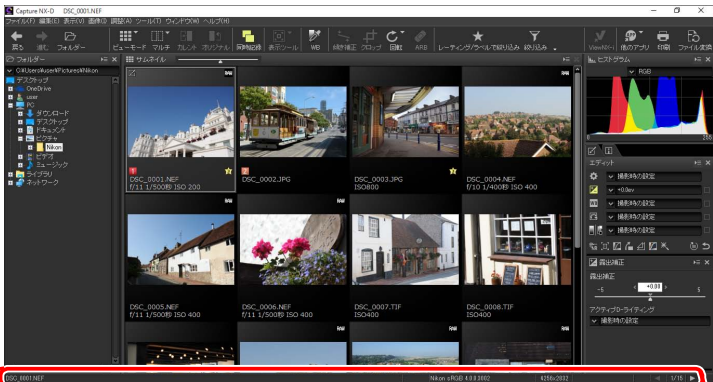
①	戻る / 進む	現在画像を選んでいるフォルダーの前または次のフォルダーに移動します。	—
②	フォルダー	ダイアログからフォルダーを選択して開けます。	P.7
③	ビューモード	画面表示エリアの表示方法を変更します。	P.11
④	マルチ	プレビュー画面を分割して表示します。このモードでは「編集結果比較」または「2 画像表示」が使用できます。	P.14
⑤	カレント	調整を加えた状態の画像を調整前（Before）として設定します。	P.14
⑥	オリジナル	Before に表示している画像を、撮影時の状態に戻します。	P.14
⑦	同時記録	オンにすると、RAW+JPEG 同時記録で撮影した画像がある場合に、すべての画像が表示されます。	P.11
⑧	表示ツール	カーソルの機能や形状を変更できます。	—

⑨	WB	このツールを使ってプレビュー画像をクリックすると、その部分が無彩色になるように自動的にホワイトバランスを調整します（グレーポイントサンプルツール）。	P.22
⑩	傾き補正	画像の傾きを調整します。	P.32
⑪	クロップ	画像の必要な部分だけを切り抜きます。	P.39
⑫	回転	画像を時計回りまたは反時計回りに 90 度ずつ回転します。回転方向は回転ツールボタンを長押しして変更できます。	—
⑬	レタッチブラシ	画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取り除きます（自動レタッチブラシ）。	P.41
⑭	レーティング / ラベルで絞り込み	レーティングやラベルの設定によって表示する画像を絞り込みます。	P.18
⑮	絞り込み	ラベルやレーティング、カメラや撮影時の設定によって表示する画像を絞り込みます。	P.18
⑯	絞り込みをクリア	「絞り込み」や「レーティング / ラベルで絞り込み」で絞り込んだ条件を解除します。	P.18
⑰	バッチ処理状況	バッチ処理の進捗状況を表示します。	P.42
⑱	バッチ処理をキャンセル	バッチ処理を中断します。	—
⑲	ViewNX-i	現在選択している画像を ViewNX-i で表示します。Capture NX-D で調整を行った場合は、その調整も反映されます。RAW 画像の場合でも、TIFF 形式に変換せずにそのまま開けます。	—
⑳	他のアプリ	選択した画像を変換して、あらかじめ登録した Capture NX-D 以外のアプリケーションで開きます。使用するアプリケーションは「画像を開くアプリケーション」で追加できます。	P.49
㉑	印刷	サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビュー画像を印刷できます。	P.44
㉒	ファイル変換	調整した画像を、名前を付けて JPEG または TIFF 形式で保存します。	P.38

Capture NX-D の各部名称

ステータスバー

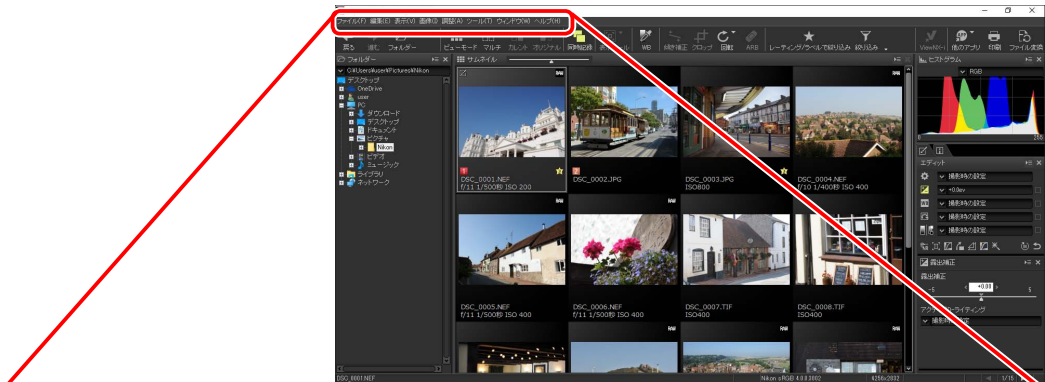
現在サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビュー画像の情報を表示します。



①	DSC_0001.NEF	ファイル名	サムネイル画面で選ばれている画像、またはプレビュー画像のファイル名を表示します。
②	10.6%	表示倍率	プレビュー画面で表示されている画像の表示倍率を表示します。
③	Nikon sRGB 4.0.0.3002	色空間	プレビュー画面で表示されている画像の色空間を表示します。
④	4256x2832	画像サイズ	プレビュー画面で表示されている画像の画像サイズ（ピクセル数）を表示します。
⑤	R:057 G:090 B:150	現在のカラー	現在マウスカーソルがあるピクセルのカラー情報を表示します。プレビュー表示またはイメージビューアー表示の場合のみ表示されます。
⑥	◀ 2/15 ▶	フォルダ内移動	現在のフォルダー内にあるファイル数と、何番目の画像が選ばれているかを表示します。◀または▶で選んだ画像を変更できます。

メニューバー

画像のファイル変換や調整などを選べます。



①	ファイルメニュー	画像のファイル変換やバッチ処理、ファイルの名称変更などを行えます。
②	編集メニュー	画像のコピーや貼り付け、削除などを行えます。
③	表示メニュー	サムネイルのサイズを変更したり、プレビュー画像の表示倍率を変更したりできます。
④	画像メニュー	画像の角度を変更したり、撮影時のフォーカスポイントを表示したりできます。
⑤	調整メニュー	画像に行った調整の内容をコピーしたり、その調整を他の画像に適用したりできます。
⑥	ツールメニュー	傾き補正ツールやクロップツールなどをメニューから選べます。
⑦	ウィンドウメニュー	各パレットの表示 / 非表示を切り換えられます。
⑧	ヘルプメニュー	ヘルプを表示します。Windows の場合、Capture NX-D のバージョンを確認することもできます。

画像の表示方法

サムネイル表示

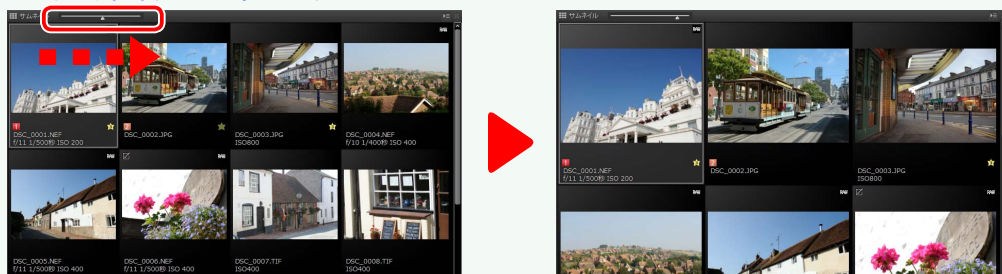
Capture NX-D は、以下のように一覧（サムネイル）で表示されます（初期設定）。サムネイルエリアに、画像の一覧が表示されます。背景のグレーが明るくなっている画像が、現在選ばれている画像です。



サムネイルの大きさを変える

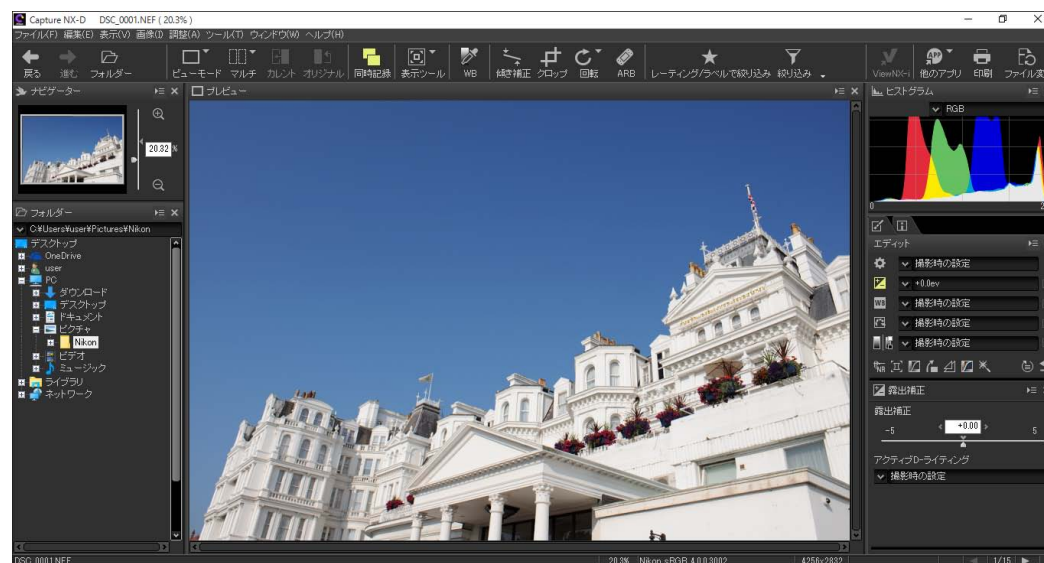
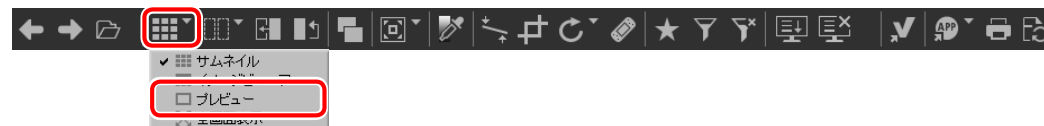
サムネイルエリアの上部にあるサムネイルコントロールバーで調整できます。

サムネイルコントロールバー



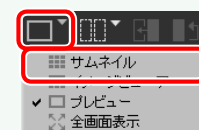
プレビュー表示

サムネイルをダブルクリックするか、ツールバーの「ビューモード」で「プレビュー」を選べると、画像が1枚のみ表示されます。



サムネイル表示に戻す

ツールバーの「ビューモード」で「サムネイル」を選べると、サムネイル表示に戻ります。



同名ファイルのサムネイルを表示する

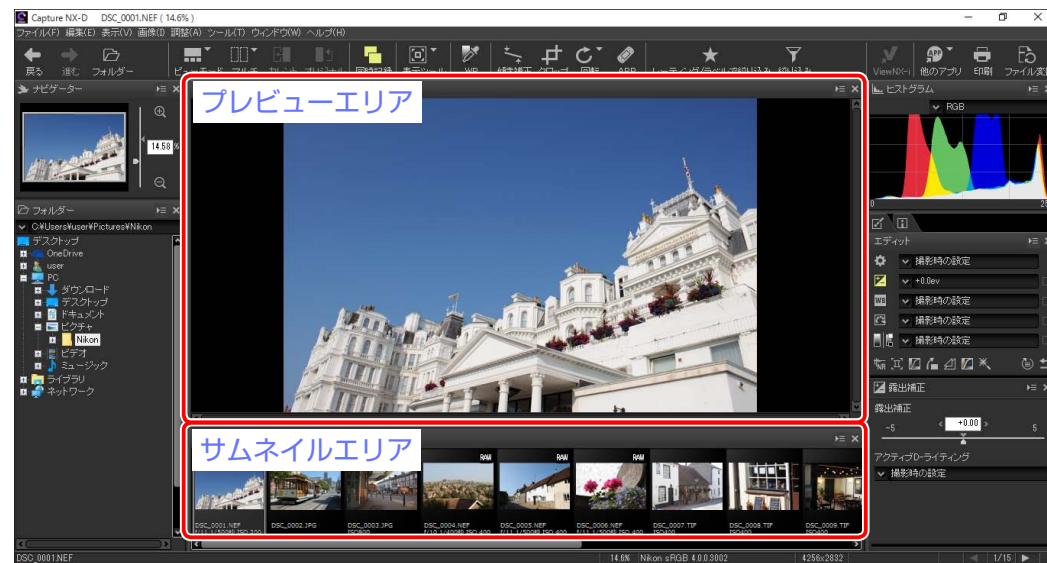
RAW+JPEG 同時記録で撮影した画像など、形式が異なる同名のファイルがある場合は、RAW 形式のファイルのみサムネイルに表示されます。ツールバーの「同時記録」をオフにすると、すべての画像が表示されます。



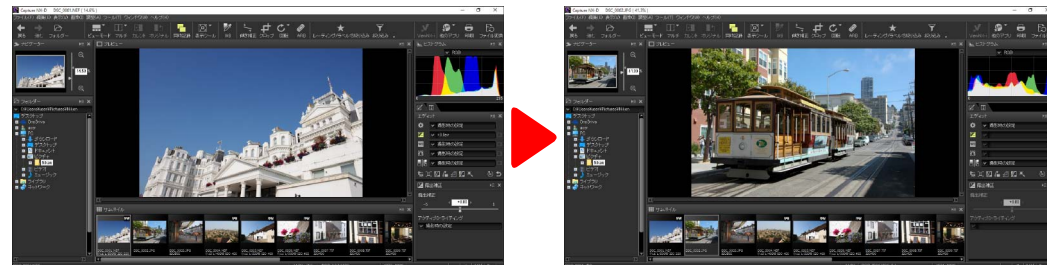
画像の表示方法

イメージビューアー

ツールバーの[ビューモード]で[イメージビューアー]を選べると、プレビューとサムネイルが同時に表示されます。

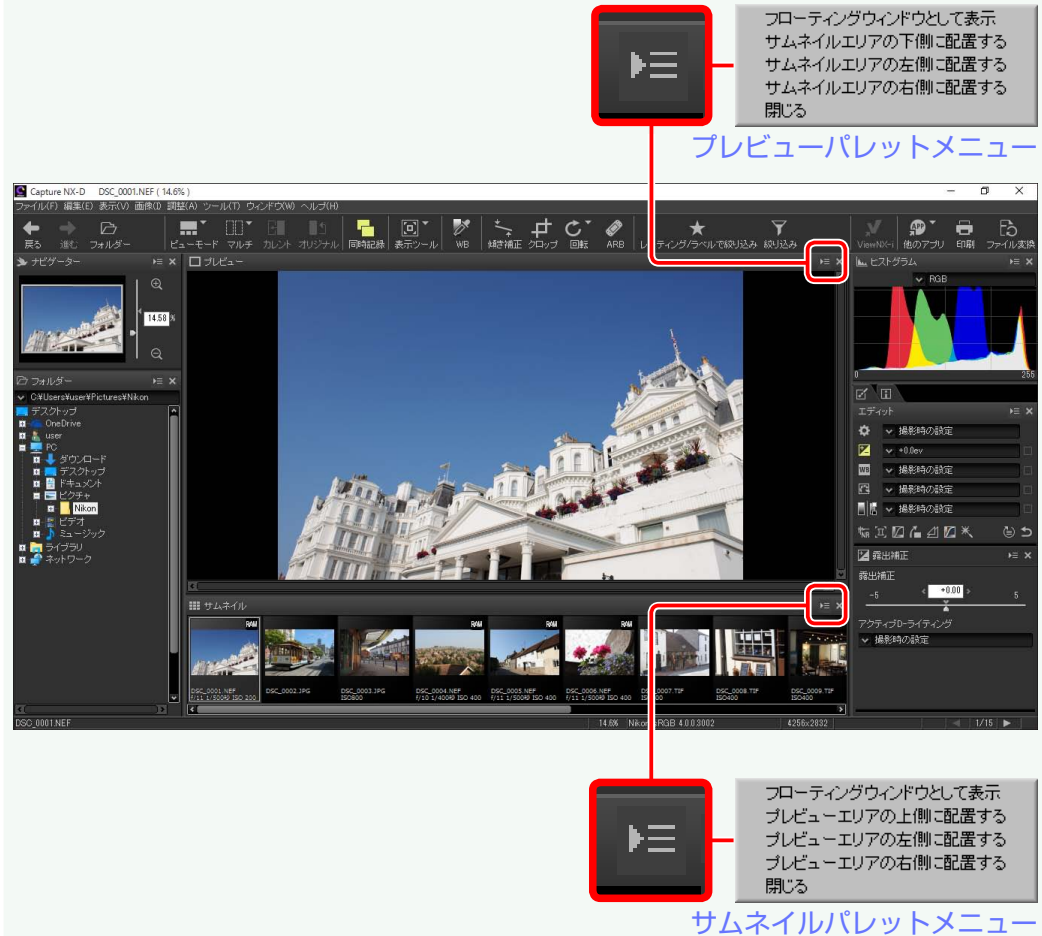


サムネイルをクリックすると、プレビューが切り替わります。



プレビューエリアとサムネイルエリアの位置を変更する

プレビューエリアとサムネイルエリアの位置は、それぞれのパレットメニューで変更できます。



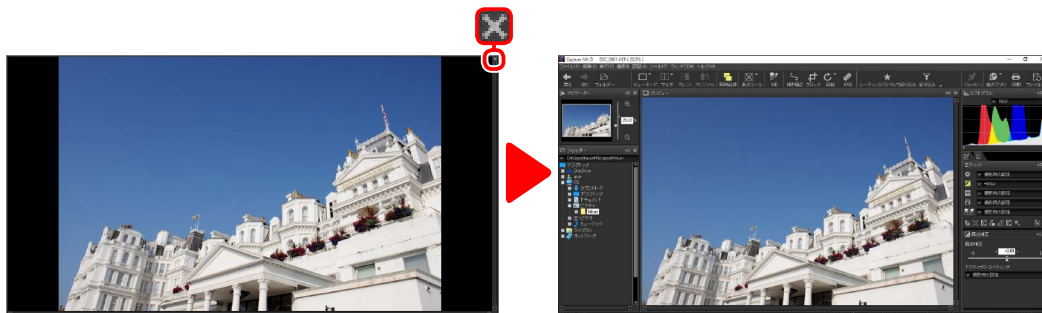
画像の表示方法

全画面表示

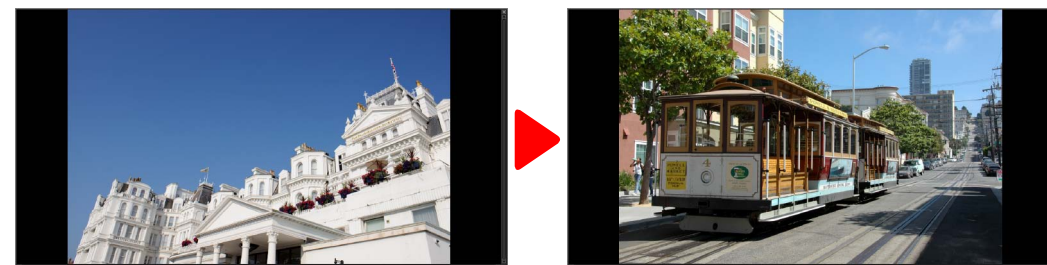
ツールバーの [ビューモード] で [全画面表示] を選ぶと、モニターいっぱいにプレビューを表示します。パレットやツールバーなども表示されなくなります。



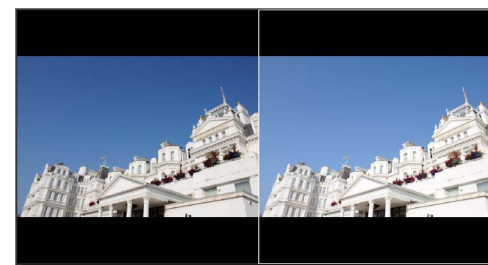
表示に戻すには Esc キーまたは右上の  ボタンを押します。



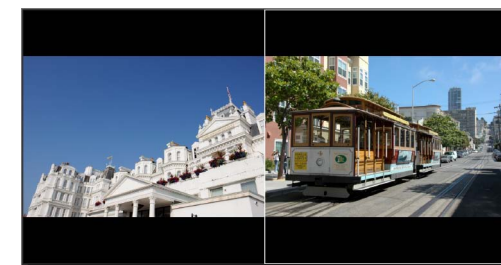
キーボードの左右キーを押すと、画像を切り換えられます。



比較表示 (P.14) している場合も、全画面表示に切り換えられます。



編集結果比較



2 画像表示

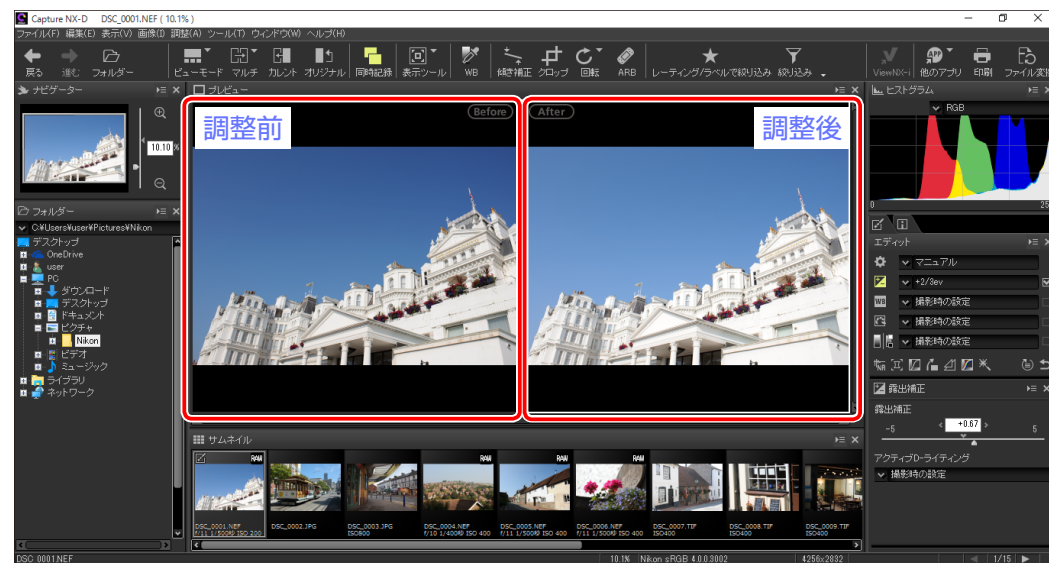
画像を比較表示する

ツールバーの「マルチ」を使用すると、プレビュー画面を分割して表示できます。同じ画像の調整前 (Before) と調整後 (After) を並べて表示する「編集結果比較」と、異なる複数の画像を並べて表示する「2 画像表示」「4 画像表示」があります。「マルチ解除」を選ぶと、分割表示を解除します。



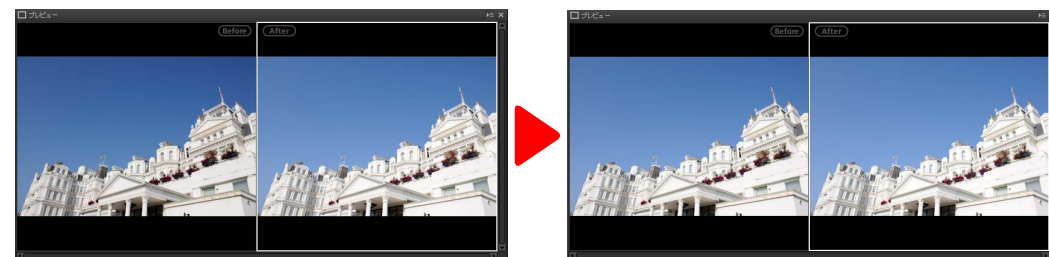
編集結果比較

同じ画像の調整前 (Before) と調整後 (After) を並べて比較できます。



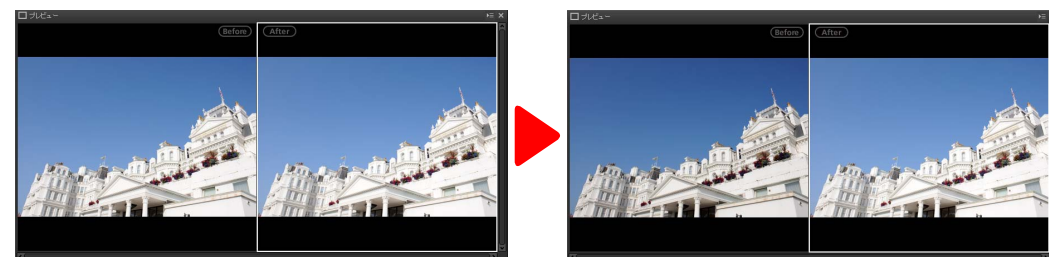
調整後の画像を調整前の画像として使用する

ツールバーの「カレント」をクリックすると、調整を加えた現在の画像を調整前の画像として使用できます。調整を加えた状態から、さらに調整を行う場合に便利です。



調整前の画像を元に戻す

ツールバーの「オリジナル」をクリックすると、調整前 (Before) の画像を撮影時の状態に戻します。表示している画像が他のアプリケーションなどで修正を加えた JPEG または TIFF 画像の場合は、保存時の状態に戻します。



画像を比較表示する

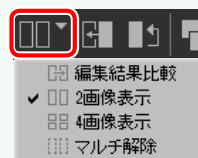
2 画像表示

異なる画像を並べて比較できます。選ばれている画像を拡大 / 縮小したり、表示位置を変更すると、もう一方の画像もあわせて拡大 / 縮小、表示位置の変更を行います。

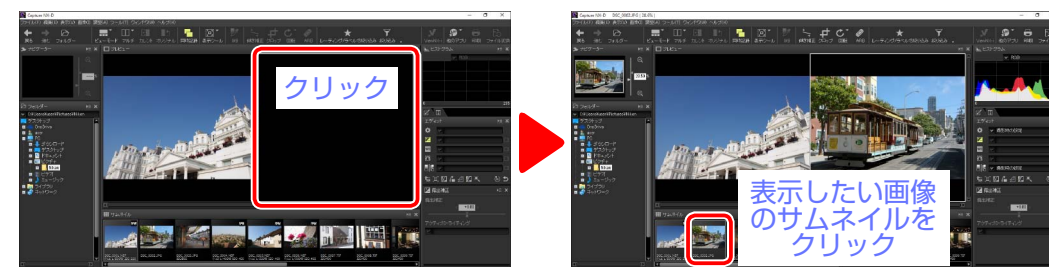


画面の分割数を変更する

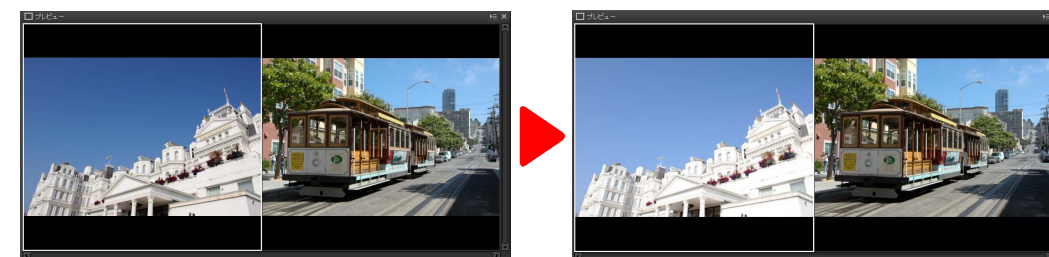
4GB 以上のメモリーを搭載した、64bit 版の Windows または Mac でお使いの場合、2 画面に分割するか 4 画面に分割するかを選べます。32bit 版の Windows の場合は 2 画面表示のみです。



ツールバーの「マルチ」ボタンを押して「2 画像表示」を選ぶと、現在選ばれている画像がプレビューの左側に表示されます。画像を表示したい位置のプレビューをクリックしてから、画像をサムネイルで選びます。異なるフォルダーに収められた画像は、比較表示できません。

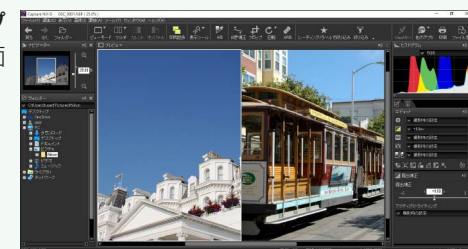


選ばれている画像には、プレビューに白い枠がついています。ナビゲーターパレットやヒストグラム、ステータスバーには、選ばれている画像の情報が表示されます。画像の調整は選ばれている画像にのみ適用されます。



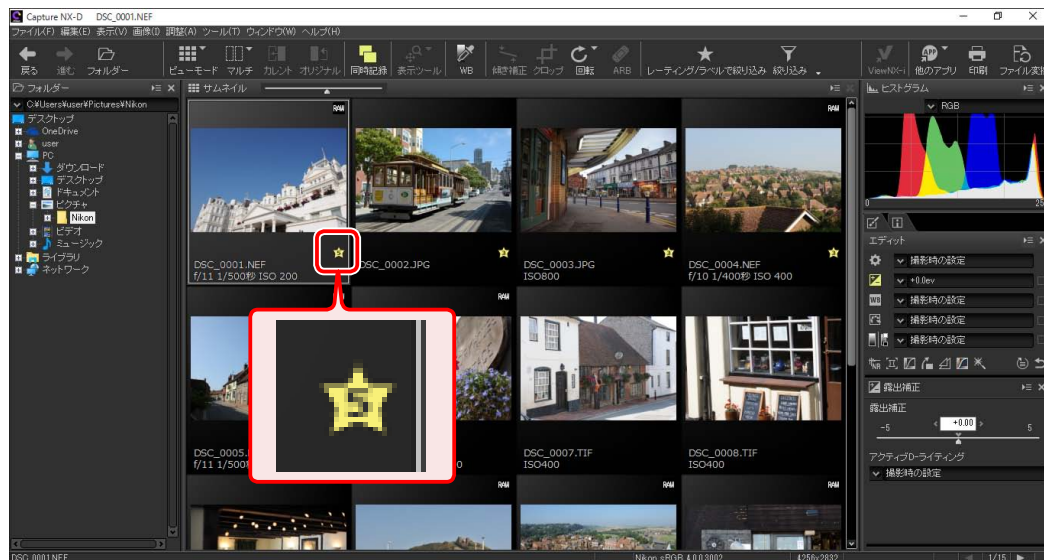
プレビュー表示で画面を分割する

画像を選んだ後にツールバーの「ビューモード」で「プレビュー」を選ぶと、プレビューが分割された全画面表示になります。



レーティングを付ける

レーティングを付けて画像の重要度を設定します。レーティングは 1 から 5 まで設定できます。

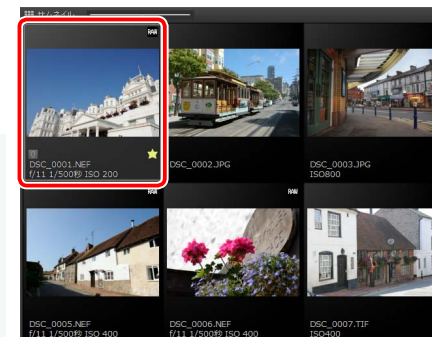


レーティングは、サムネイル上または「画像」メニューの「レーティング設定」で設定できます。

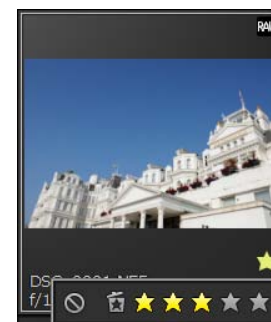
画像にレーティングを付けるには、次の手順で行います。

1 レーティングを付けたい画像を選びます。

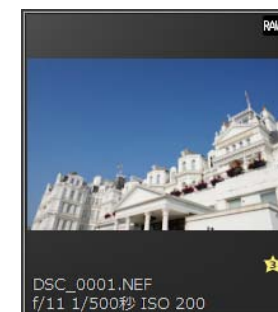
✓ 複数の画像にまとめて同じレーティングを付けることもできます。Ctrl キー（Mac は command キー）を押しながらサムネイルをクリックすると、クリックした画像だけ選べます。Shift キーを押しながらサムネイルをクリックすると、その範囲の画像をすべて選べます。



2 サムネイル上の★をクリックして、レーティングを設定します。選んだ数の★が画像に付加されます。



3 つ目の星をクリックするとレーティング 3 となります（3 つの星が黄色くなります）。



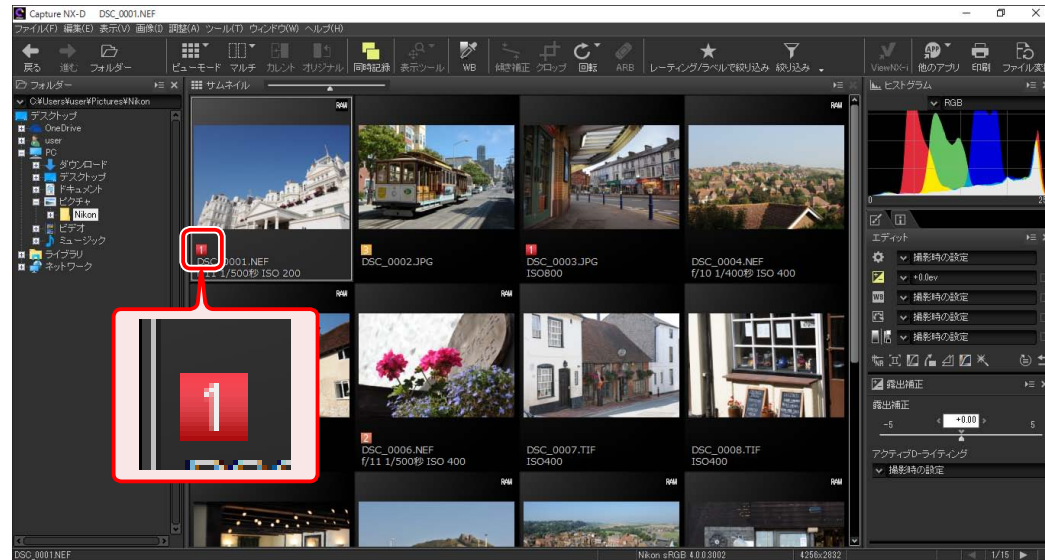
✓ レーティングを外すときは、🚫をクリックしてください。

✓ メニューでレーティングを設定する場合

メニューから操作する場合は、「画像」メニューの「レーティング設定」から付加したい数のレーティングを選びます。

ラベルを付ける

ラベルを付けて画像进行分类すると便利です。ラベルは0（ラベルなし）から9まで付けることができ、それぞれ色分けされています。

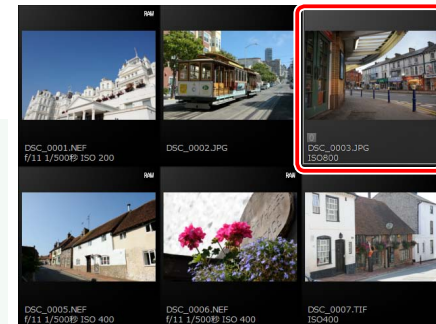


ラベルは、サムネイル上または「画像」メニューの「ラベル設定」で設定できます。

画像にラベルを付けるには、次の手順で行います。

1 ラベルを付けたい画像を選びます。

✓ 複数の画像にまとめて同じラベルを付けることもできます。Ctrlキー（Macはcommandキー）を押しながらサムネイルをクリックすると、クリックした画像だけ選べます。Shiftキーを押しながらサムネイルをクリックすると、その範囲の画像をすべて選べます。



2 サムネイル上のラベル（ラベルを設定していない画像の場合、サムネイル上にマウスカーソルを置くと「0」が表示されます）をクリックします。表示されるウィンドウで0～9のラベルをクリックすると、選んだ画像にラベルが付加されます。



2. 付けたいラベルをクリック

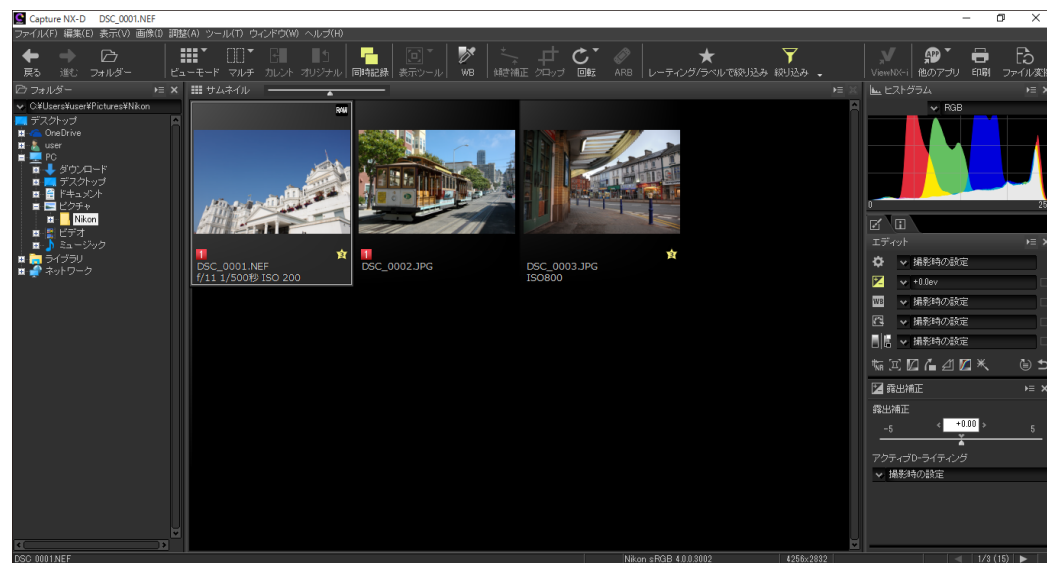
✓ ラベルを外すときは、0を選んでください。

✓ メニューでラベルを設定する場合

メニューから操作する場合は、「画像」メニューの「ラベル設定」から付加したいラベルを選びます。

フィルターで表示する画像を絞り込む

ツールバーの「絞り込み」をクリックすると、レーティングやラベル、撮影時の情報など、特定の条件を使って表示する画像を絞り込みます。



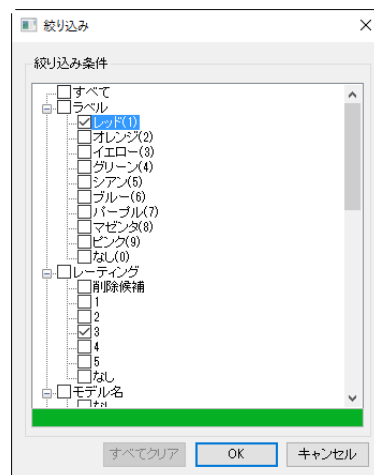
「絞り込み」をクリックすると、絞り込みダイアログが表示されます。条件にチェックを入れると、その条件を満たす画像のみがサムネイルに表示されます。

絞り込みの項目について

絞り込みの条件として使用できる項目の「モデル名」「焦点距離」「シャッタースピード」「絞り値」「ISO 感度」は、選んでいるフォルダー内の画像に使用されている値のみ表示されます。

複数の項目をチェックした場合

複数の項目にチェックを入れた場合、いずれかの項目をひとつでも満たしている画像がすべて表示されます。

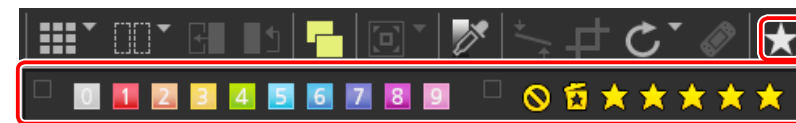


レーティング / ラベルで絞り込み

ツールバーの「レーティング / ラベルで絞り込み」を使用すると、レーティングまたはラベルの種類のみで画像を絞り込みます。

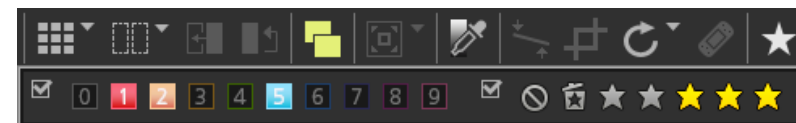


1 「レーティング / ラベルで絞り込み」をクリックして、フィルターバーを表示します。



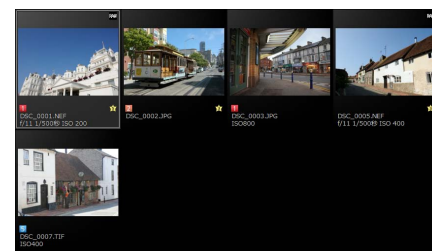
フィルターバー

2 絞り込みたい条件をクリックして選びます。



✓ レーティングを設定する場合、複数の★をクリックするとその間のレーティングがすべて選ばれます。

3 設定した条件で、画像が絞り込まれてサムネイル表示されます。



画像の絞り込みを解除する

ツールバーの「絞り込みをクリア」をクリックすると、「絞り込み」や「レーティング / ラベルで絞り込み」で絞り込んだ条件を解除して、フォルダー内のすべての画像を表示します。



エディットについて

画像を調整するときは、主にエディットパネルを使用します。

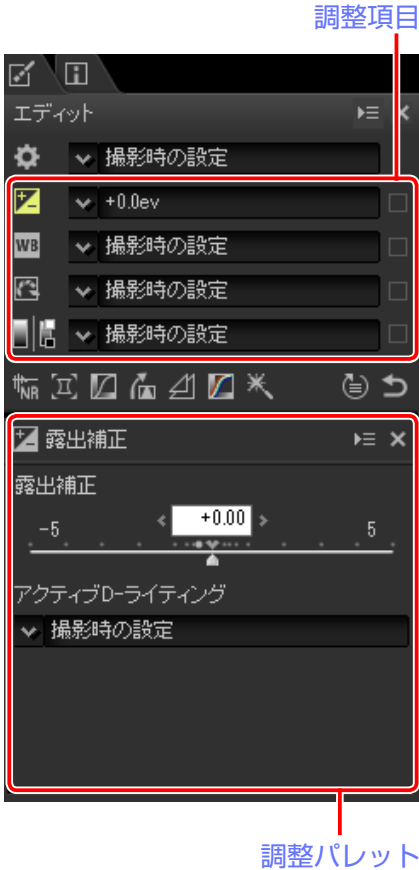
調整項目

エディットパネルは、調整項目と調整パレットに分かれ、さらに調整ボタンが配置されています。

- 調整項目には、露出補正やホワイトバランスなど、主に RAW 画像の調整に使う項目が含まれています。各調整項目のプルダウンメニューから、簡単に調整値を選べます。
- 調整項目は次の通りです。

	露出補正	P.21
	ホワイトバランス	P.22
	ピクチャーコントロール	P.23
	トーン/トーン (ディテール)	P.24

- 各調整項目を変更すると、プルダウンメニューの右側にあるチェックボックスがオン ☒ になります。クリックしてチェックをオフ ☐ にすると、一時的に調整の適用を無効にします。
- プルダウンメニューで [撮影時の設定] を選ぶと、それまで調整した内容を破棄して、撮影したときの設定に戻ります。
- [露出補正]、[ホワイトバランス]、[ピクチャーコントロール] は RAW 画像のみ調整が可能です。



調整パレット

調整項目の左側にある各調整項目または左下の調整ボタンのアイコンをクリックすると、調整パレットの内容が切り替わります。それぞれの項目の内容を、細かく設定できます。



- 調整パレットで調整を行うと、調整項目のプルダウンメニューに [マニュアル] と表示されます。

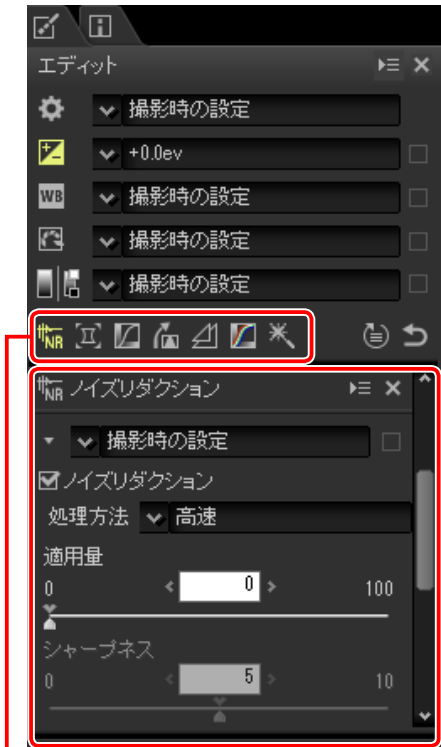
調整ボタン

調整ボタンをクリックすると、調整パレットの内容が切り替わり、調整を行えます。

- 調整ボタンの項目は次の通りです。

	ノイズリダクション	P.26
	カメラとレンズの補正	P.27
	LCH エディター	P.29
	傾き補正とアオリ効果	P.32
	アンシャープマスク	P.33
	レベルとトーンカーブ	P.34
	レタッチ	P.41

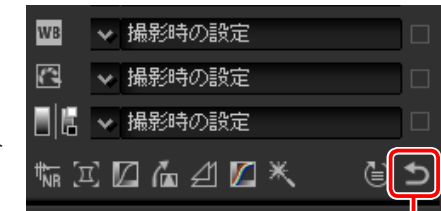
- 調整を行った項目は、のようにアイコンが黄色く表示されます。
- 項目によっては、RAW 画像のみ適用できる調整が一部含まれています。詳しくは各項目の内容を参照してください。



調整ボタン

撮影時の状態に戻す

「撮影時の状態に戻す」ボタンをクリックすると、Capture NX-D で行った調整内容を破棄して画像撮影時の状態に戻します。ただし他のアプリケーションなどで修正を加えた JPEG または TIFF 画像の場合は、保存時の状態に戻します。

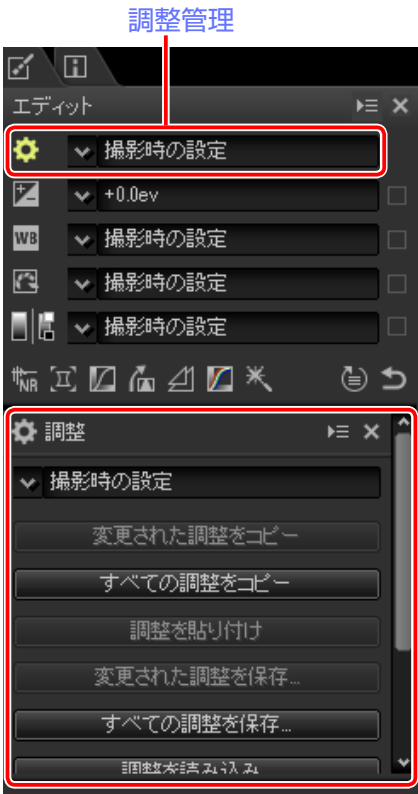


撮影時の状態に戻す

調整管理

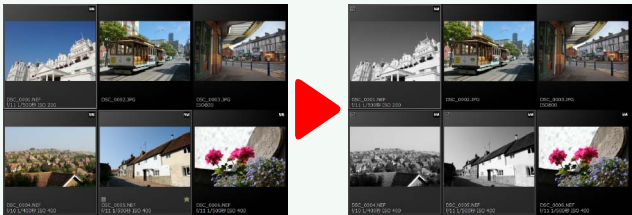
調整の内容をコピーして他の画像に貼り付けたり、複数の調整項目の調整内容をプリセットマニュアルとして登録して他の画像に適用したりできます。

- 調整管理の詳しい使用方法は、「調整内容を他の画像に適用する」([P.36](#))を参照してください。



複数の画像を同時に調整する

複数のサムネイルを選んだ状態でエディットパネルを使って調整を行うと、選んだ画像すべてに同じ調整が適用されます。



露出補正（RAW 画像のみ）

画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使用します。



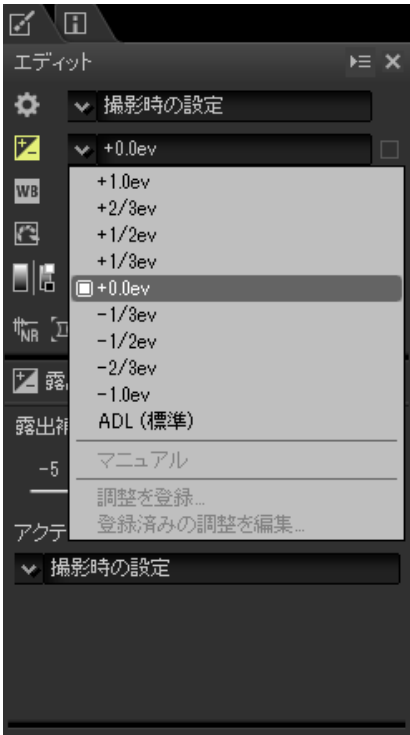
エディットパネルの露出補正プルダウンメニューでは、+ 1.0ev から -1.0ev の間で露出を調整できます。



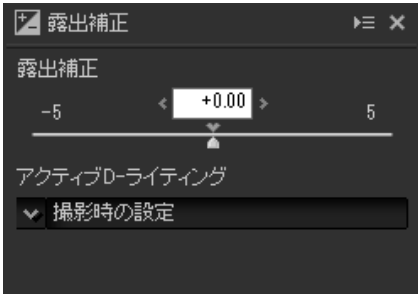
+ 1.0ev



-1.0ev

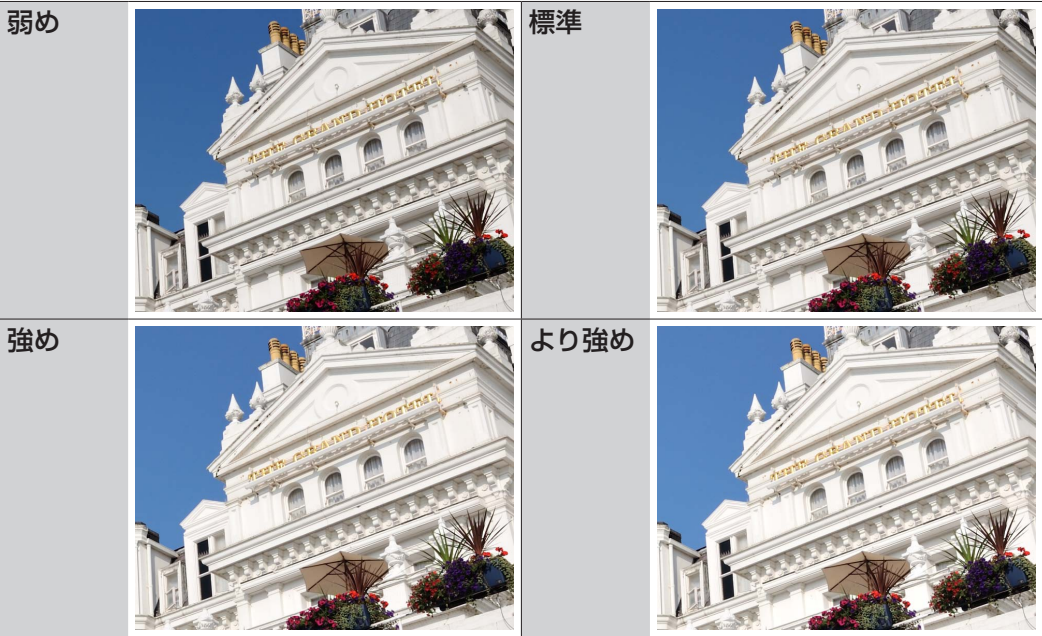


調整パレットの「露出補正」では、+ 5.0ev から -5.0ev の間で 0.01ev 単位で露出を細かく調整できます。



アクティブ D-ライティング

画像の明るい部分（ハイライト）の白とびや、暗い部分（シャドウ）の黒つぶれを軽減できます。



✓ アクティブ D-ライティングについて

「アクティブ D-ライティング」は、アクティブ D-ライティングに対応したカメラで撮影した RAW 画像にのみ有効となります。

ホワイトバランス（RAW 画像のみ）

ホワイトバランスを調整します。



エディットパネルのホワイトバランスプルダウンメニューでは、あらかじめ設定されたホワイトバランスを選べます。



電球



曇天



調整パレットの「ホワイトバランス」では、選んだホワイトバランスの「色温度」と「色味」を調整できます。

- ・「色温度」で設定できる値は、選んだホワイトバランスによって異なります。
- ・「色味」で設定できる値は、-12 から 12 までの範囲です。プラスに設定するとマゼンタ色が弱まり（緑色が強まり）、マイナスに設定すると緑色が弱まり（マゼンタ色が強まり）ます。



グレーポイント
サンプルツール

グレーポイントサンプルツール

グレーポイントサンプルツールをオンにする と、クリックしたピクセルをサンプリングして、そのピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスを調整します。画像をドラッグすると、ドラッグした範囲の平均値がサンプル値となります。

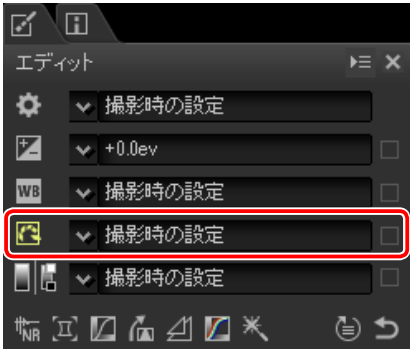


空をクリック

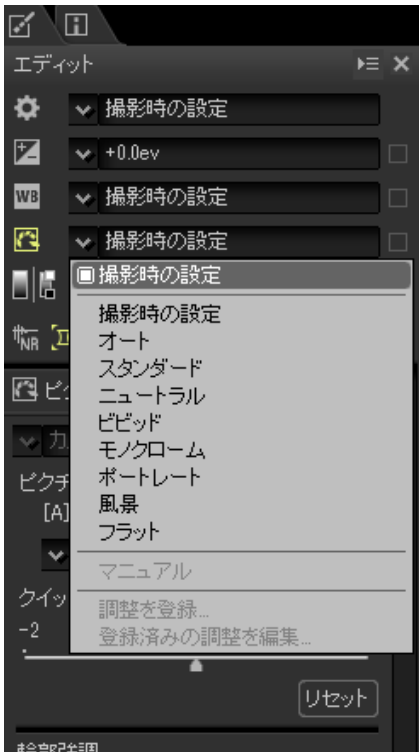


ピクチャーコントロール (RAW 画像のみ)

ピクチャーコントロールを調整します。



エディットパネルのピクチャーコントロールプルダウンメニューでは、あらかじめ設定されたピクチャーコントロールを選べます。

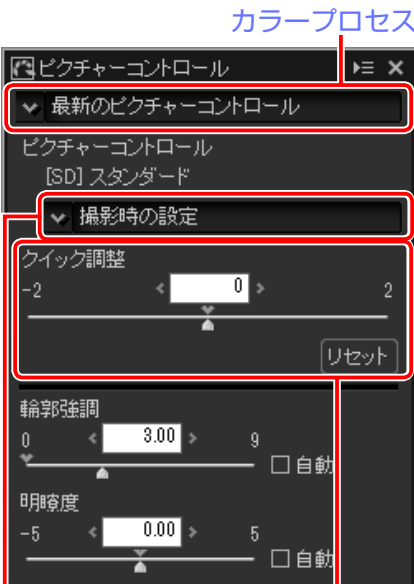


調整パレットの [ピクチャーコントロール] では、カラープロセスを選べます。

- ・ カラープロセスは、[最新のピクチャーコントロール] または [カメラ互換] から選べます。選んだ項目によって、設定できるピクチャーコントロールが異なります。

最新のピクチャーコントロール	最新のニコンのカメラで使っているピクチャーコントロールのカラープロセスを適用します。
カメラ互換	画像を撮影したニコンのカメラで使っているピクチャーコントロールのカラープロセスを、そのまま適用します。

- ・ [クイック調整] では、各項目のレベルを自動的に調整します。－側になるとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を弱めた画像になり、＋側になると強調した画像になります。個別調整した後にクイック調整を行うと、個別調整で設定した値は無効になります。[リセット] をクリックすると、初期設定の値に戻ります。[クイック調整] は [ニュートラル]、[フラット] または [モノクローム] の場合は調整できません。



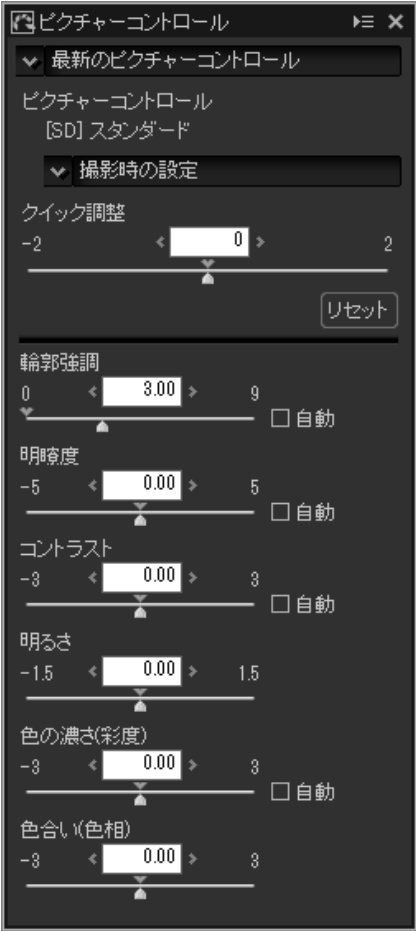
ピクチャーコントロール

クイック調整

ピクチャーコントロール（RAW 画像のみ）

- 選んだピクチャーコントロールの輪郭強調、明瞭度、コントラスト、色の濃さ（彩度）などを調整できます。設定できる項目は、ピクチャーコントロールによって異なります。
- 〔自動〕にチェックを入れると、自動で調整します。同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりが具合は変化します。

輪郭強調	輪郭の強弱を調整します。数字が大きいほどくっきりとした画像になります。
明瞭度	画像の明瞭度を調整します。〔最新のピクチャーコントロール〕を選ぶか、〔明瞭度〕に対応したカメラで撮影した画像のみ調整できます。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。－側にすると軟らかい調子の画像になり、＋側にすると硬い調子の画像になります。
明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
色の濃さ（彩度） （〔モノクローム〕以外）	画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。－側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。
色合い（色相） （〔モノクローム〕以外）	画像の色合いを調整できます。
フィルター効果 （〔モノクローム〕のみ）	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。

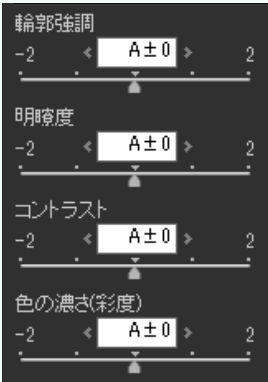


調色 （〔モノクローム〕のみ）	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。
色の濃淡を調整 （〔モノクローム〕のみ）	〔調色〕で選んだ色の濃淡を 7 段階から選べます。〔調色〕の設定が〔B&W〕の場合は、調整できません。

- アクティブ D-ライティングまたはカスタムカーブを適用したカスタムピクチャーコントロールを使用して撮影した画像の場合、カラープロセスで〔カメラ互換〕を選んでいると〔コントラスト〕および〔明るさ〕が調整できなくなります。

ピクチャーコントロールで〔オート〕を選んだ場合

ピクチャーコントロールで〔オート〕を選択している場合、各項目のオートの調整レベルを〔A-2〕～〔A+2〕から選ぶことができます。



トーン / トーン（ディテール）

画像全体の明るさやコントラストを調整したり、画像内のハイライトやシャドー部分だけを調整したりできます。

トーン

調整項目の[トーン]のアイコンをクリックすると、調整パレットが切り替わります。

明るさ	画像全体の明るさを -100 から 100 までの範囲で調整できます。数字が大きいほど明るくなります。
コントラスト	画像全体のコントラストを -100 から 100 までの範囲で調整できます。- 側にすると軟らかい調子の画像になり、+側にすると硬い調子の画像になります。
色の濃さ (彩度)	画像全体の彩度を -100 から 100 までの範囲で調整できます。- 側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やかになります。



トーン（ディテール）

調整項目の[トーン（ディテール）]のアイコンをクリックすると、調整パレットが切り替わります。

ハイライト	画像の明るい部分（ハイライト）を 0 から 100 までの範囲で調整できます。数字が大きいほど明るさを抑えます。
シャドー	画像の暗い部分（シャドー）を 0 から 100 までの範囲で調整できます。数字が大きいほど明るくなります。
D- ライティング HS	選択されている画像の暗い部分を処理し、明るい部分の細部を追加します。数字が大きいほどハイライト部分とシャドー部分のコントラスト差が少なくなります。



調整ボタン

調整項目以外のさまざまな調整を行えます。

ノイズリダクション

画像のノイズを低減する処理を行います。

ノイズリダクション	チェックを入れると、ノイズを低減を行います。
処理方法	プルダウンメニューから 高速 、 高画質 または 高画質 2013 のいずれかの処理方法を選択します。高速処理にするには 高速 、さらに正確なノイズリダクション効果にするには 高画質 または 高画質 2013 を選択します。 高画質 2013 は RAW 画像のみ適用できます。
適用量	0 から 100 の範囲で設定できます。1 以上の値を入れると、処理が行われます。数値を上げると、画像全体のざらつき感が低減され、なめらかな状態になります。 処理方法 で 高画質 2013 を選択した場合、 輝度 と カラー それぞれに適用量を設定できます。
シャープネス	適用量 を上げすぎると、なめらかになりすぎて解像度がないような画像になりますが、 シャープネス の数値を上げると、解像度（質感）を高めることができます。 高画質 2013 を選択した場合、 輝度 と カラー それぞれにシャープネス量を設定できます。



エッジノイズリダクション (RAW 画像のみ)	チェックを入れると、境界部に生じるノイズを低減したり、エッジ部分の輪郭をより鮮明にすることができます。
アストロノイズリダクション (RAW 画像のみ)	チェックを入れると、長時間露出で星を撮影した画像内に現れる、輝点（星を散らしたような）ノイズを低減します。

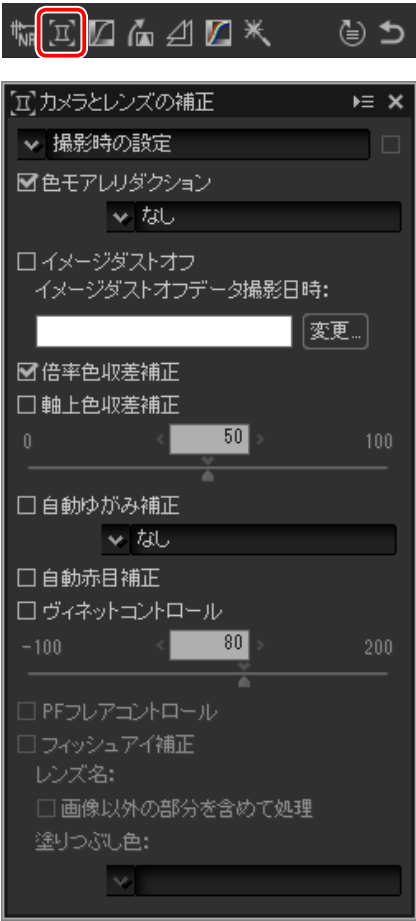
[高画質 2013] について

[高画質 2013] は、より低周波な色ノイズの低減や、画像平坦部のノイズ低減に優れています。

カメラとレンズの補正

画像の色ずれなどを補正できます。

色モアレリダクション (RAW 画像のみ)	チェックを入れると、色モアレ (規則的な重複パターンによる色干渉) が低減されます。プルダウンメニューから適用の度合いを選びます。
イメージダストオフ (RAW 画像のみ)	カメラで取得したイメージダストオフ用のデータを、ローパスフィルター上にあるゴミの位置を参照画像 (イメージダストオフデータ) として登録できます。登録するには[変更]ボタンをクリックして NDF ファイルを選択してください。チェックを入れると、登録した参照画像と表示中の画像が比較され、表示中の画像にあるゴミを低減できます。参照画像はカメラで取得します。詳しい説明はカメラの使用説明書を参照してください。
倍率色収差補正	チェックを入れると、倍率色収差による色ずれを低減できます。この機能は RAW 画像の場合は初期設定でオンに設定されているため自動的に適用されますが、TIFF 形式や JPEG 形式の場合はオフに設定されています。



軸上色収差補正	チェックを入れると、画像内の軸上色収差 (色ずれ) を低減します。0 から 100 までの範囲で調整でき、数字が大きいほどより強く色ずれを低減できます。
自動ゆがみ補正	広角レンズ使用時のたる型ゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻きゆがみなど、レンズの特性により発生する画像のゆがみを画像に記録されたレンズ情報を用いて補正します。プルダウンメニューで [しない] または [自動] を選択します。 専用防水レンズを装着したレンズ交換式アドバンストカメラで撮影した画像の場合、プルダウンメニューの項目として [自動 (水中)] が追加されます。水中で撮影するときの糸巻き型のゆがみを補正できます。
自動赤目補正	チェックを入れると、画像から人物の赤目現象を自動的に見つけて出して補正します。
ヴィネットコントロール	レンズの特性により発生する周辺光量の低下を調整することができます。-100 から 200 までの範囲で調整でき、数字が大きいほど画像の端を明るくします。
PF フレアコントロール (対応レンズで撮影した画像のみ)	画面内に強い光源がある場合、画像にフレア (リング状、円形など) が写り込むことがあります。チェックを入れると、画像に写り込んだフレアを軽減できます。
フィッシュアイ補正 (対応レンズで撮影した画像のみ)	フィッシュアイレンズで撮影した画像を、通常の広角レンズで撮影したように変換できます (P28)。 AF DX Fisheye-Nikkor 10.5mm f/2.8G ED、AF Fisheye-Nikkor 16mm f/2.8D または AF-S Fisheye NIKKOR 8-15mm f/3.5-4.5E ED を使用して撮影した画像にのみ対応しています。その他のレンズを使用して撮影された画像には使用できません。

■イメージダストオフ

- 1 **[変更]** をクリックします。現在のフォルダ内にイメージダストオフ参照画像（イメージダストオフデータ）がある場合、その参照画像をイメージダストオフ処理に使用するかを尋ねるメッセージが表示されます。
- 2 **[はい]** または **[いいえ]** をクリックします。**[はい]** を選んだ場合は、その参照画像が使用され、処理は終了です。**[いいえ]** を選んだ場合、または現在のフォルダ内にイメージダストオフ参照画像がない場合は次のステップに進んでください。
- 3 イメージダストオフ参照画像を選択して **[OK]** をクリックします。

✔ イメージダストオフについて

- ローパスフィルターについたゴミの量と位置は変わる場合があります。処理を行う場合は、その画像が撮影された 1 日以内に作成した参照画像の使用をおすすめします。
- [イメージセンサークリーニング]** 機能があるカメラの場合、イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致なくなるため、**[イメージダストオフ]** を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、カメラで **[イメージセンサークリーニング後 開始]** を選択後に撮影することをおすすめします。
- [サイズ S]** に設定して撮影した RAW 画像では使用できません。

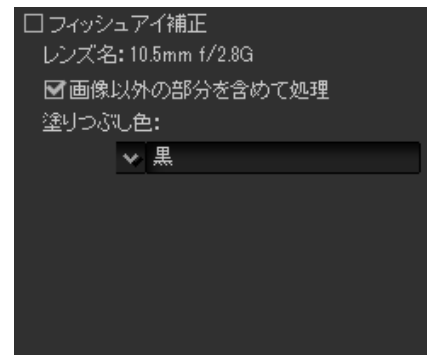
■フィッシュアイ補正

[フィッシュアイ補正] にチェックを入れると、フィッシュアイレンズで撮影した画像を広角レンズで撮影したように変換します。対角線魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を通る縦幅を基準にしてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。円周魚眼で撮影した画像の場合、画像の中心を基準としてカメラの画角の比率に合わせて切り出されます。



AF DX Fisheye-Nikkor 10.5mm f/2.8G ED または AF Fisheye-Nikkor 16mm f/2.8D で撮影した画像の場合

[画像以外の部分を含めて処理] にチェックを入れると、画像の変換後に切り出しを行いません。画像は一部を湾曲させて変換を行いますが、湾曲した部分には画像情報がまったく含まれません。その部分を何色で塗りつぶすかを **[塗りつぶし色]** メニューから選びます。



AF-S Fisheye NIKKOR 8-15mm f/3.5-4.5E ED で撮影した画像の場合

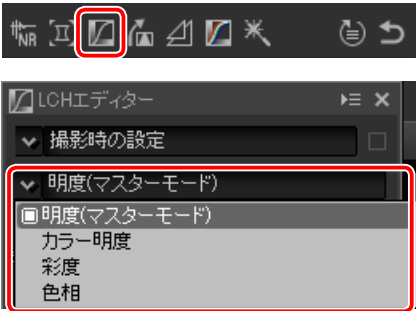
- [範囲調整]** で切り出す範囲を設定できます。値を小さくするほど、画像の中心部分を拡大して切り出します。対角線魚眼で撮影した画像の場合、値を大きく設定すると画像情報がまったく含まれない部分が生じることがあります。その部分を何色で塗りつぶすかを **[塗りつぶし色]** メニューから選びます。
- [歪み調整]** で画像のゆがみを調整できます。値を大きくすると、画像の中心から外に向かって弓形に押し出したように調整します。値を小さくすると、画像の中心に向かって引き込まれるように調整します。



LCH エディター

画像の明るさやカラー明度などのチャンネルを切り換えて、個別に調整できます。

- LCH エディターでは、チャンネルセクターで調整するチャンネルを選択します。選んだチャンネルによって、調整パレットの内容が切り替わります。



■ 明度（マスターモード）

[明度（マスターモード）] チャンネルは、色相と彩度を変えずに明暗の調整を行うことができます。スライダーによる調整や、明度カーブを直接編集して調整します。

① 自動 コントラスト	画像の最も明るい階調域と最も暗い階調域にある一定数の画素を階調域から除外してブラックポイント／ホワイトポイントを設定し、コントラストを高めます。
② アンカー ポイントの追加	ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、明度（マスターモード）カーブ上に新しいポイントが追加されます。
③ 現在の チャンネルをリセット	明度（マスターモード）のカーブを直線にリセットします。
④ すべての チャンネルをリセット	明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。

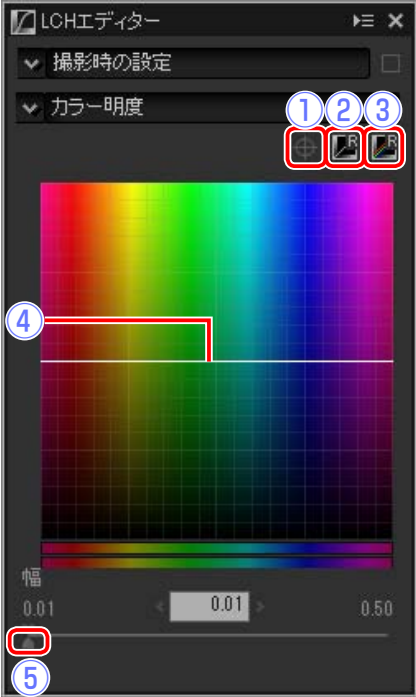


⑤ ホワイトポイント出力スライダー	出力レベルの最大値（ホワイトポイント）を設定します。
⑥ ヒストグラム	それぞれの入力明度で表示されている画素の分布を表示します。横軸が明度（0 ～ 255）で、縦軸が画素数を示します。
⑦ 明度カーブ	カーブの傾き、形を変更することにより、画像の明暗を調整します。
⑧ ブラックポイント出力スライダー	出力レベルの最小値（ブラックポイント）を設定します。
⑨ ブラックポイントスライダー	入力レベルの最小値（ブラックポイント）を設定します。
⑩ ガンマ	明度の中間調（ガンマ値）を設定します。
⑪ ホワイトポイントスライダー	入力レベルの最大値（ホワイトポイント）を設定します。

■ カラー明度

[カラー明度] チャンネルは、特定の色の明暗を調整することができます。例えば、暗い空の色を色相と彩度を変えずに明るい空の色に変更することが可能です。

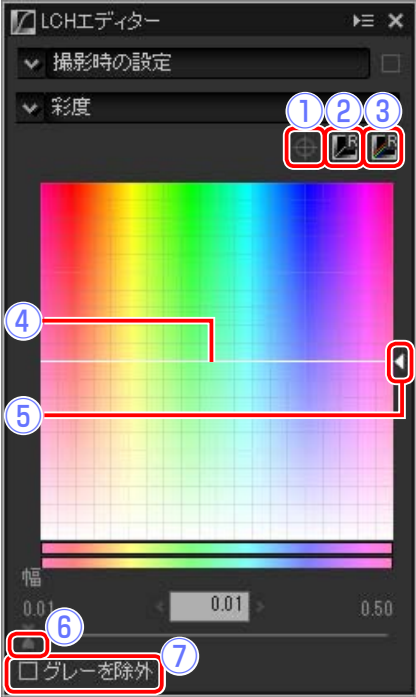
アンカー ① ポイントの追加	ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、カラー明度カーブ上に新しいポイントが追加されます。
現在の ② チャンネルをリセット	カラー明度のカーブを直線にリセットします。
すべての ③ チャンネルをリセット	明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。
カラー明度 ④ カーブ (縦軸：明度、横軸：彩度)	カラー明度カーブ上でマウスカーソルを動かし、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると明度が上がり、下方にドラッグすると明度が下がった状態になります。
⑤ 幅スライダー	カラー明度カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、カラー明度調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、カラー明度調整を行う色の範囲が狭くなります。



■ 彩度

[彩度] チャンネルは、色のあざやかさ（彩度）の調整が可能です。特定の色や画像全体をあざやか（彩度が上がる）にしたり、淡い（彩度が下がる）状態にできます。

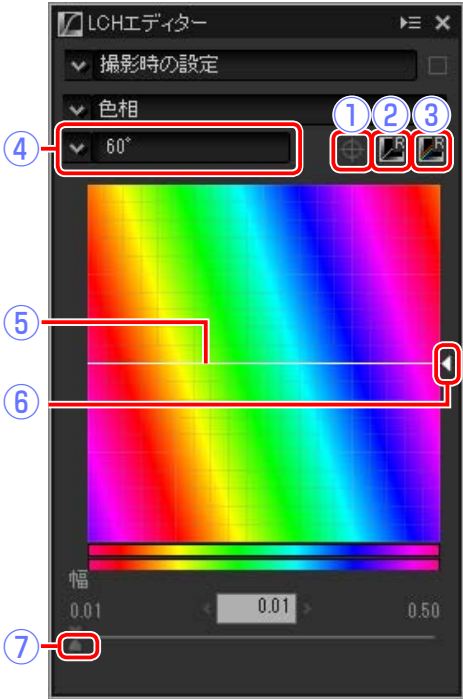
アンカー ① ポイントの追加	ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、彩度カーブ上に新しいポイントが追加されます。
現在の ② チャンネルをリセット	彩度のカーブを直線にリセットします。
すべての ③ チャンネルをリセット	明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。
④ 彩度カーブ	彩度カーブ上でマウスカーソルを動かし、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると彩度が上がり、下方にドラッグすると彩度が下がった状態になります。
⑤ 出力スライダー	設定した彩度カーブ全体を上下方向にシフトします。上に動かすと、全体の彩度が上がり、下に動かすと、全体の彩度が下がります。入力の色相エディタ上または画像上でマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが位置する色相の入力値が表示されます。
⑥ 幅スライダー	彩度カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、彩度調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、彩度調整を行う色の範囲が狭くなります。
⑦ グレーを除外	チェックボックスをオンにすると、彩度調整を行う対象からグレーの領域が除外されます。グレーに近い色の彩度は変化しないため、彩度を大きく上げたときにグレー部分の色かぶりを抑えることができます。



■色相

〔色相〕チャンネルは、特定の色や画像全体の色合い（色相）を変更することができます。例えば、うすい色の空を紺碧の青空に変更することが可能です。

アンカー ① ポイントの追加	ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、色相カーブ上に新しいポイントが追加されます。
現在の ② チャンネルをリセット	色相のカーブを直線にリセットします。
すべての ③ チャンネルをリセット	明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。
④ 色相マップの回転	色相表示エリアの縦軸に表示される色相の範囲を、60度、120度、180度から選択します。この角度は、表示可能な全ての色相を360度とし、そのうちの縦軸上で選択可能な色の割合を意味します。角度が大きくなると選択できる色相が増え、角度が小さくなると色相が減り、微妙な調整がし易くなります。
⑤ 色相カーブ	色相カーブ上でマウスカーソルを動かし、変更したい色のポイントを目的の色のポイントへドラッグすると、色相が変わります。
⑥ 出力スライダー	スライダーを上下に動かすと、画像全体の色相が変わります。色相範囲ボタンで60度が選ばれている場合は、±60度、120度の場合は、±120度、180度の場合は、±180度の範囲で変更が可能です。



⑦ 幅スライダー

色相カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、色相調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、色相調整を行う色の範囲が狭くなります。

傾き補正とアオリ効果

画像の傾きを±10度の範囲で補正できます。また、高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被写体のゆがみを補正します。

■ 傾き補正

画像の傾きを-10から10までの範囲で調整できます。マイナス方向に調整すると反時計回りに、プラス方向に調整すると時計回りに傾きを補正します。[傾き補正]のチェックを外すと、傾き補正の効果を無効にできます。

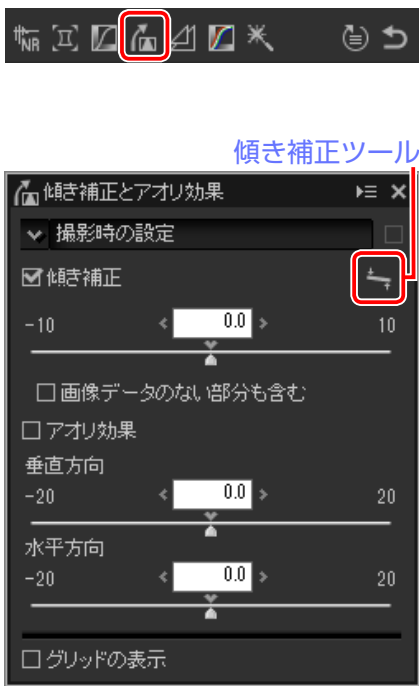
傾き補正ツール

傾きに沿ってドラッグすると、指定した基準線が水平または垂直になるように±10度の範囲で傾きが補正されます。補正された傾きの度数はテキストボックスに表示されます。

- 傾き補正ツールは、サムネイル表示 (P.11) の場合は使用できません。
- 画像の傾きを調整すると、画像情報のない部分が生じます。画像情報のない部分が表示されないように、自動的に切り抜かれます。



傾きに沿ってドラッグ



画像データのない部分も含む

[画像データのない部分も含む]にチェックを入れると、画像情報のない部分が黒く塗りつぶされます。



傾きに沿ってドラッグ

■ アオリ効果

遠近感による被写体のゆがみを垂直方向ならびに水平方向に-20から20までの範囲で調整できます。

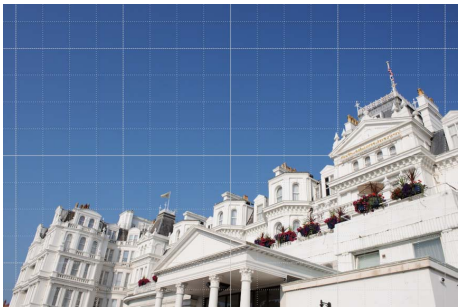


垂直方向：20

水平方向：20

■ グリッドの表示

チェックを入れると画像にグリッドを表示します。グリッドの色や間隔などは、環境設定の[表示] (P.48) で変更できます。



アンシャープマスク

輪郭をはっきりとさせ、画像をシャープにする場合に使用します。[アンシャープマスク]を使用すると、画像の輪郭部分だけのコントラストが高まり、他の部分は変わりません。

① 削除	リストボックス内の処理を選んで削除できます。
② 上に移動 / 下に移動	リストボックス内の処理の順番を入れ替えられます。
③ リストボックス	設定した内容が表示されます。1行中は左から「カラー、適用量、半径、しきい値」の順で、たとえば「赤、50%、10%、0」と表示されます。複数設定した場合は上から順に適用され、[上に移動]または[下に移動]ボタンで順序を入れ替えられます。
④ カラー	アンシャープマスクを適用する色を選択できます。
⑤ 適用量	シャープネスの強度を設定します。数値を大きくするほどシャープが強くなり、濃いエッジがかかります。

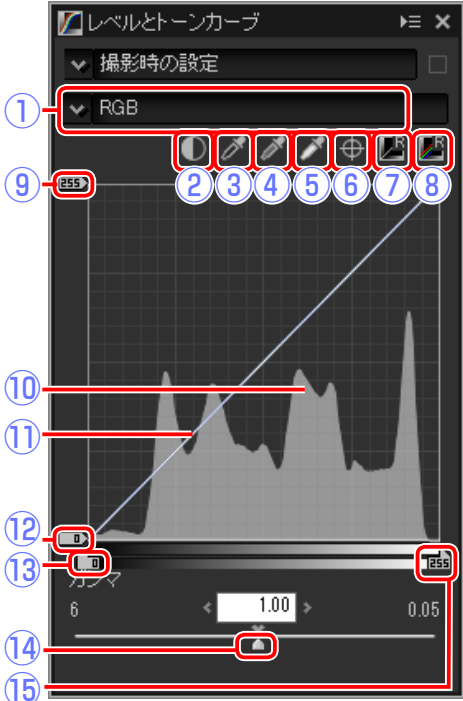


⑥ 半径	エッジの太さを設定します。数値を大きくするほど太いエッジが、小さくするほど細いエッジがつきます。
⑦ しきい値	エッジをつけるかつけないかの適用基準を設定します。しきい値を0にすると、すべてのエッジに対してシャープがかかります。数値を大きくすると、濃淡の変化が小さい部分にはエッジがつかず、シャープがかからなくなります。

レベルとトーンカーブ

コントラスト、階調レベル (明るさ)、カラーバランスを調整できます。画像の階調の特定の部分に関して調整を行い、細部を保ちながら画像を強調できます。プリンターやモニターなどの特定の出力機器が持つ階調または全カラー領域を最大限に利用できます。

①	チャンネルセレクトター	補正の対象となるチャンネルを選択します。
②	自動コントラスト	チャンネル内のホワイトポイントとブラックポイントを変更して、個別チャンネルの色を自動的に配分します。
③	ブラックポイントの設定	ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。赤、緑、青の3つのカラーチャンネルのブラックポイントスライダーが、その色の値に変更されます。
④	ニュートラルポイントの設定	ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。選ばれた色の RGB の値が等しくなるように、赤、緑、青の3つのカラーチャンネルのガンマが調整されます。
⑤	ホワイトポイントの設定	ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、その部分の色が選ばれます。赤、緑、青の3つのカラーチャンネルのホワイトポイントスライダーが、その色の値に変更されます。



⑥	アンカーポイントの追加	ボタンをクリックした後に、画像の任意の場所をクリックすると、すべてのチャンネルのカーブ上に、その部分の色を表す新たなアンカーポイントを追加します。
⑦	現在のチャンネルをリセット	現在のチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。
⑧	すべてのチャンネルをリセット	すべてのチャンネルのトーンカーブを初期設定の値に戻します。
⑨	ホワイトポイント出力スライダー	画像の最大明るさレベルを設定します。スライダーを下にドラッグすると画像のもっとも明るい部分が暗くなります。
⑩	ヒストグラム	画像のレベル分布を示します。
⑪	トーンカーブ	カーブの傾き、形を変更することにより、画像の明暗を調整します。
⑫	ブラックポイント出力スライダー	画像の最小明るさレベルを設定します。スライダーを上ドラッグすると画像のもっとも暗い部分が明るくなります。
⑬	ブラックポイントスライダー	スライダーを右に動かすと、選択した点より左側の明るさを完全な黒（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色がない色合い）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。
⑭	ガンマ	スライダーを左に動かすと画像の中間色調が明るくなり、右に動かすと画像の中間色調が暗くなります。
⑮	ホワイトポイントスライダー	スライダーを左に動かすと、選択した点より右側の明るさを完全な白（個別チャンネルの場合は、そのチャンネルの色が最大の明るさの値）に設定し、可能な数値範囲に明るさの範囲が収まるよう広げて再配分します。

現在のチャンネルのみを対象にするには

[自動コントラスト]、[ブラックポイントの設定]、[ホワイトポイントの設定]、[アンカーポイントの追加] では、Ctrl キー（Mac は option キー）を押しながらクリックすると、現在のチャンネルのみが対象になります。

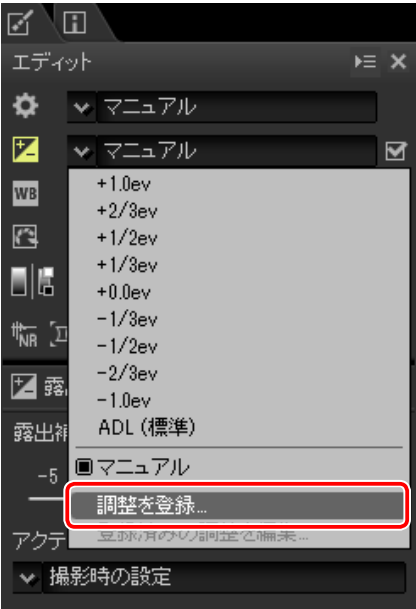
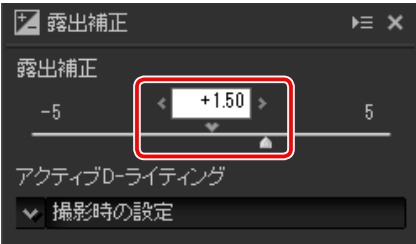
調整した内容を他の画像に適用する

Capture NX-D では、調整した内容を他の画像に適用できます。同じ状況で撮影された画像に適用すれば、簡単に仕上がりを合わせることができます。

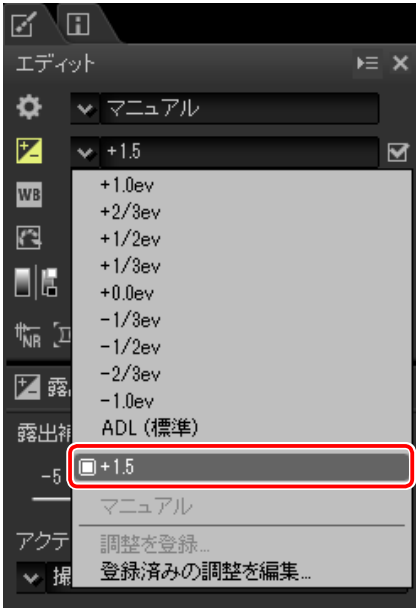
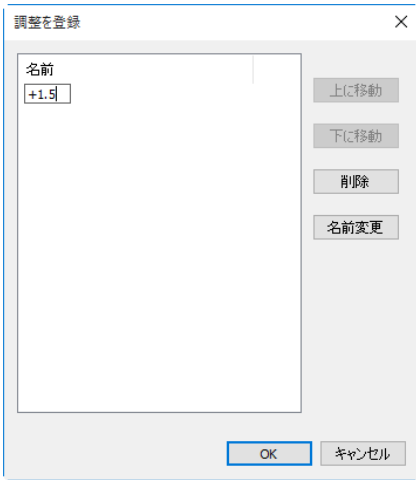
プルダウンメニューの項目として登録する

調整した内容を、プルダウンメニューにプリセットとして登録できます。

- 1 調整パレットを使用して、好みの調整を行います。ここでは[露出補正] (P.21) の設定を +1.50 に調整しています。
- 2 調整項目のプルダウンメニューで [調整を登録] を選びます。



- 3 [調整を登録] ダイアログで任意の名前を設定します。ここでは「+ 1.5」としています。名前を決定したら [OK] をクリックします。
- 4 登録した名前がプリセットマニュアルとしてプルダウンメニューに登録され、同じ調整内容が他の画像にも適用できるようになります。



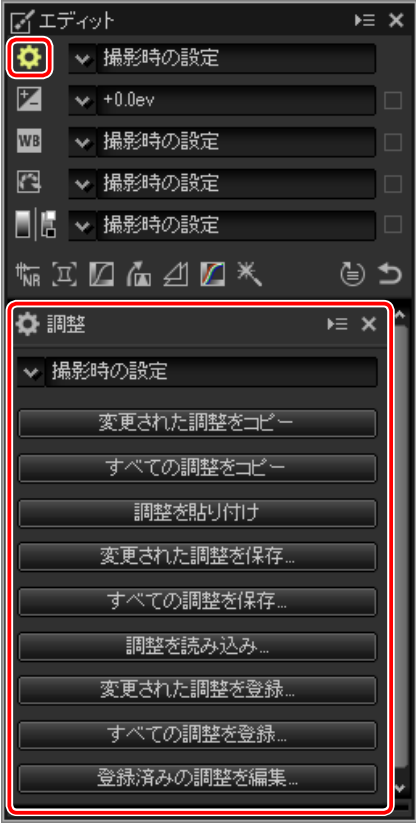
プルダウンメニューの [登録済みの調整を編集] を選べると、ダイアログで名前の変更や調整の削除が行えます。

調整した内容を他の画像に適用する

調整内容を他の画像に適用する

調整管理を使用すると、画像に加えた複数の項目を、まとめて他の画像に適用できます。

変更された調整をコピー	調整の値を変更した項目のみ設定をコピーします。コピーされる項目は、対象の画像が含まれるフォルダーを選んでから行った調整のみとなります。一度他のフォルダーを選ぶと、それまで行っていた調整の値はコピーできません。
すべての調整をコピー	すべての項目の設定をコピーします。
調整を貼り付け	「変更された調整をコピー」または「すべての調整をコピー」でコピーした調整を画像に適用します。
変更された調整を保存	調整の値を変更した項目のみ、設定をひとつの設定ファイルとして保存します。保存される項目は、対象の画像が含まれるフォルダーを選んでから行った調整のみとなります。一度他のフォルダーを選ぶと、それまで行っていた調整の値は保存できません。
すべての調整を保存	すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイルとして保存します。
調整を読み込み	設定ファイルを読み込んで、調整を適用します。
変更された調整を登録	調整の値を変更した項目の設定を、「調整」のプルダウンメニューにプリセットとして登録します。登録される項目は、対象の画像が含まれるフォルダーを選んでから行った調整のみとなります。一度他のフォルダーを選ぶと、それまで行っていた調整の値は登録できません。



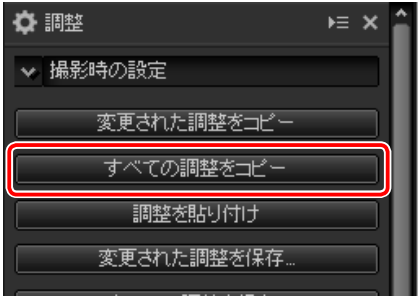
すべての調整を登録	すべての項目の設定を、「調整」のプルダウンメニューにプリセットとして登録します。
登録済みの調整を編集	プルダウンメニューにプリセットとして登録した調整の名前や並び順を変更したり、削除したりできます。

■ 調整内容をコピーして貼り付ける

1 エディットパネルを使用して、好みの調整を行います。ここでは「露出補正」(P.21)の設定を -1/2ev、「ピクチャーコントロール」(P.23)を「ビビッド」に設定しています。



2 調整項目 (P.19) の「調整」アイコン をクリックして調整パレットを切り換え、「変更された調整をコピー」または「すべての調整をコピー」をクリックします。ここでは「すべての調整をコピー」を選んでいます。



調整した内容を他の画像に適用する

3 調整を適用したい画像を選びます。この画像にはすでに「露出補正」(P21)と「ホワイトバランス」(P22)に調整が加えられています。



4 調整項目の「調整」アイコンををクリックして調整パレットを切り換え、「調整を貼り付け」をクリックします。



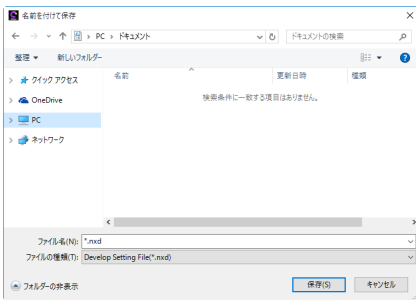
5 調整が適用されます。手順2で「すべての調整をコピー」を選んでいるため、すでに設定していた「露出補正」が手順1と同じ値に変更され、「ホワイトバランス」の設定は「撮影時の設定」に戻っています。



手順2で「変更された調整をコピー」を選んでいた場合、この例では「露出補正」と「ピクチャーコントロール」のみが手順1と同じ値に変更され、「ホワイトバランス」は手順3の設定のままになります。

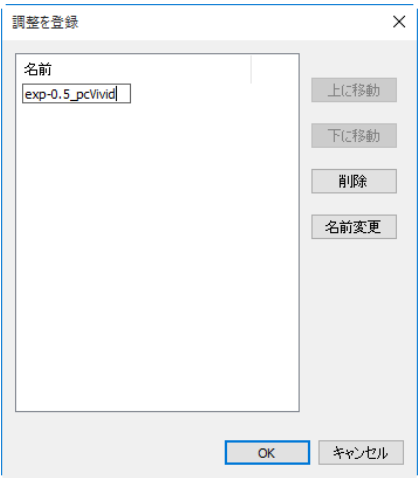
調整内容を保存して他のパソコンの画像に調整を反映する

「変更された調整を保存」または「すべての調整を保存」では、調整内容を設定ファイルとして保存できます。保存した設定ファイルは、「調整を読み込み」で読み込んで画像に適用できます。設定ファイルを他のパソコンにコピーすれば、他の環境でも同じ調整を簡単に適用できます。



調整内容を調整プルダウンメニューに登録する

「変更された調整を登録」または「すべての調整を登録」では、調整の値を変更した項目の設定を、「調整」のプルダウンメニューにプリセットとして登録します。



RAW 画像のみに適用できる項目について

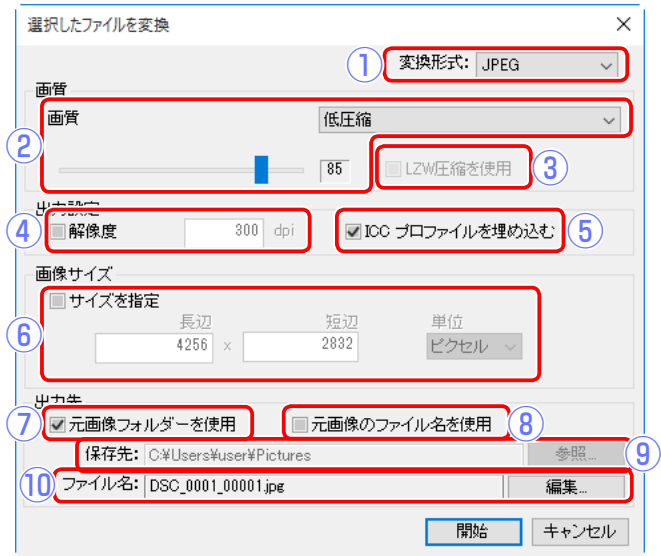
「露出補正」や「ピクチャーコントロール」など、RAW 画像のみに適用できる項目をコピーして JPEG または TIFF 形式の画像に適用した場合、それらの項目の調整の内容は反映されません。

調整した画像をファイル変換する

ツールバーの「ファイル変換」をクリックすると、調整した画像を JPEG または TIFF 形式に変換できます。



ツールバーの「ファイル変換」をクリックするとファイル変換ダイアログが表示され、画質や画像サイズなどを設定できます。[開始]をクリックすると、変換した画像が指定したフォルダーに保存されます。



① 変換形式	変換して保存するファイルの形式を [JPEG]、[TIFF 8bit] または [TIFF 16bit] から選べます。
画質	画像の圧縮率をプルダウンメニューまたはスライダーで設定できます。
② ([変換形式] が JPEG の場合のみ)	・数字が大きいほど画質が高く（圧縮率が低く）なり、数字が小さいほど画質が低く（圧縮率が高く）なります。

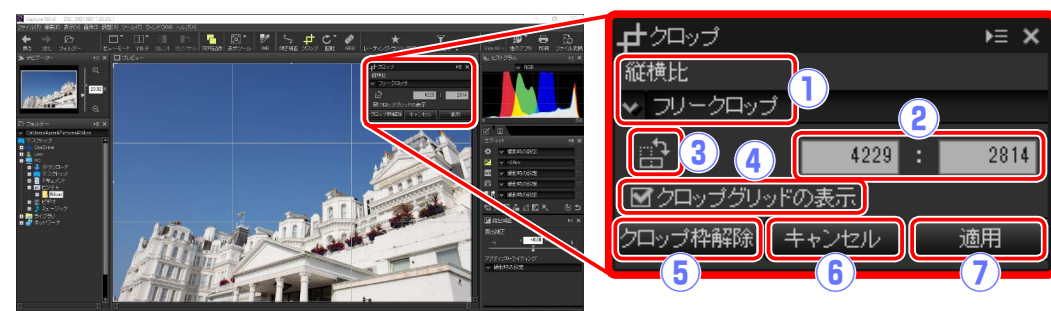
③ ([変換形式] が TIFF の場合のみ)	LZW アルゴリズムに基づいて、画像データ損失のない圧縮を行います。 ❗ ご注意 TIFF 形式（16-bit）ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。
④ 解像度	チェックを入れると、画像の解像度を変更できます。
⑤ ICC プロファイルを埋め込む	チェックを入れると、現在のカラープロファイルを画像に埋め込みます。
⑥ サイズを指定	チェックを入れると、画像サイズを拡大縮小できます。 ・[長辺] または [短辺] のテキストボックスにサイズを入力すると、縦横比を保ったままもう一方の数値が変更されます。 ・[単位] は [ピクセル]、[インチ]、[センチ] から選べます。
⑦ 元画像フォルダーを使用	チェックを入れると、変換した画像を元画像と同じフォルダーに保存します。
⑧ 元画像のファイル名を使用	チェックを入れると、変換した画像を元画像と同じファイル名で保存します。保存先にすでに同じファイル名の画像がある場合、自動的にファイル名の末尾に 2 桁の連番を追加して保存します。
⑨ 保存先	[元画像フォルダーを使用] のチェックを外した場合、変換した画像を保存するフォルダーを選べます。[参照] をクリックして保存先を選びます。
⑩ ファイル名	[元画像ファイル名を使用] のチェックを外した場合、変換した画像のファイル名を設定できます。[編集] をクリックすると、プレフィックスやサフィックス、連番の設定などが行えます。

画像を切り抜く

ツールバーの「クロップ」を使用すると、画像の必要な部分だけを切り抜くことができます。

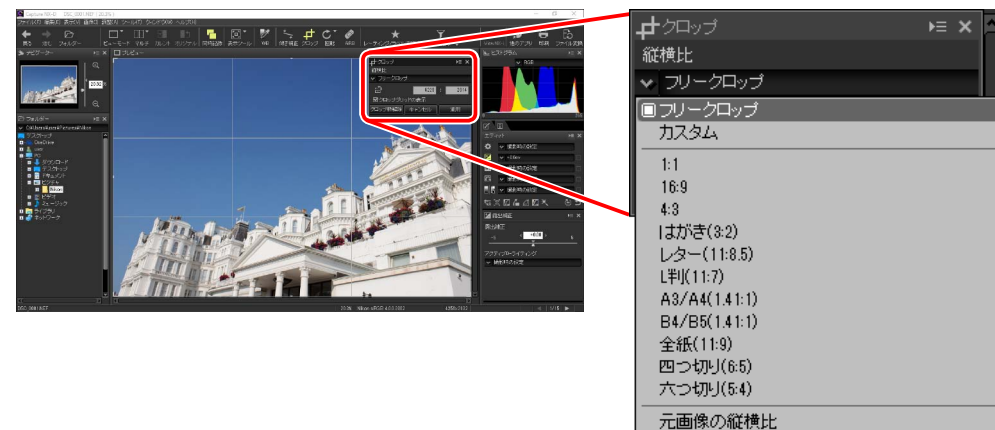


「クロップ」を選ぶと、クロップパレットが表示されます。



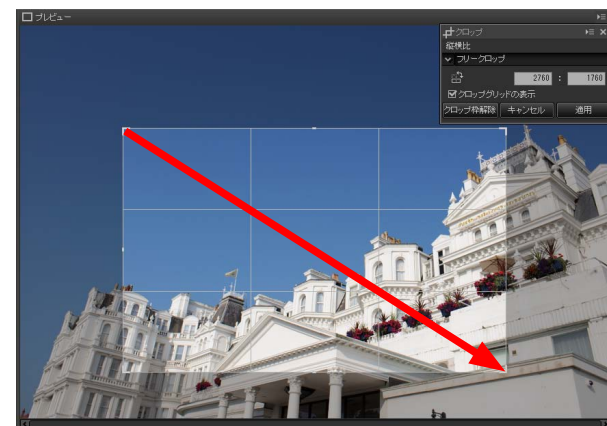
① 縦横比	画像を切り抜く範囲の縦横比を設定できます。「フリークロップ」を選ぶと、画像を自由な縦横比で切り抜きます。
② 縦横比率	「縦横比」を「カスタム」に設定した場合、縦横比を入力して指定できます。
③ クロップ枠の縦横切替	クリックすると、切り抜く範囲を指定する長方形（クロップ枠）が 90 度回転します。
④ クロップグリッドの表示	チェックを入れると、クロップ枠内に、3 × 3 の同じ大きさのグリッド（格子線）を表示します。
⑤ クロップ枠解除	クロップ枠を解除します。
⑥ キャンセル	クロップをキャンセルします。
⑦ 適用	クリックすると、現在のクロップ枠で画像を切り抜きます。

- 1 クロップパレットで切り抜きたい縦横比を選びます。縦横比を設定せず、必要な部分だけを範囲に指定したい場合は「フリークロップ」を選びます。



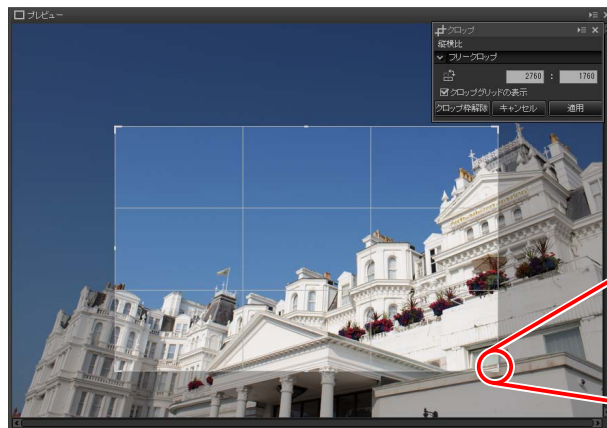
縦横比は切り抜く位置を選んだ後から変更することもできます。

- 2 切り抜きたい範囲をドラッグします。切り抜かれる部分以外の範囲は、グレーで表示されます。



画像を切り抜く

- 3 四隅のハンドルをドラッグすると、設定した縦横比を保ったまま切り抜く範囲を変更できます。



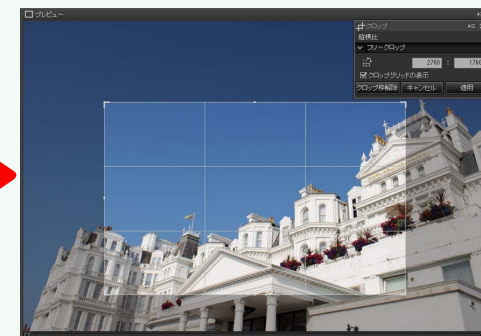
✓ クロップパレットの[クロップ枠解除]をクリックすると、切り抜く範囲を解除できます。

- 4 切り抜く範囲内をダブルクリックするか、クロップパレットの[適用] ボタンをクリックすると、手順 3 までに設定した範囲で画像が切り抜かれます。



✓ 画像のクロップについて

- [クロップ] で切り抜いても、元画像自体は実際には切り抜かれていません。再度 [クロップ] を選ぶと、切り抜く範囲を何度でも変更できます。



- 切り抜いた画像をファイル変換する (P.38) と、設定した範囲で切り抜かれた画像が作成されます。
- ViewNX 2 または ViewNX-i で切り抜きを行った画像を Capture NX-D で開いて [クロップ] を選ぶと、切り抜きを行った範囲外もすべて表示されます。
- Capture NX 2 で切り抜きを行った RAW 画像を Capture NX-D で開いた場合、切り抜きされた部分を全体画像として扱います。切り抜く範囲を広げたい場合、[撮影時の状態に戻す] ボタン (P.20) をクリックして画像撮影時の状態に戻してから再度切り抜きを行ってください。

画像内の不要なゴミを取る

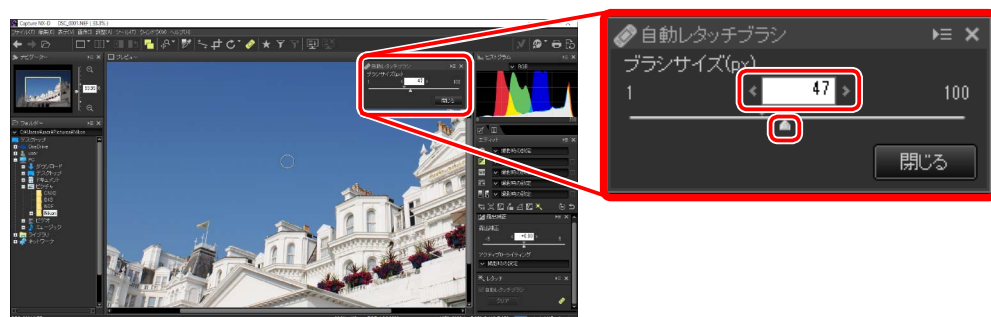
ツールバーの「レタッチブラシ」を使用すると、画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取ることができます。



「レタッチブラシ」を選ぶと、自動レタッチブラシパレットが表示されます。



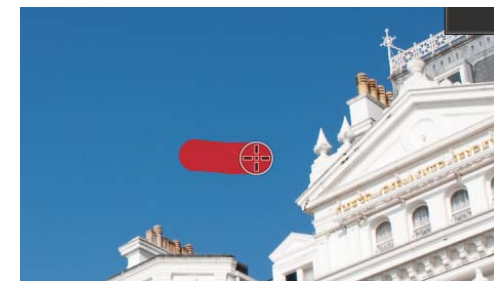
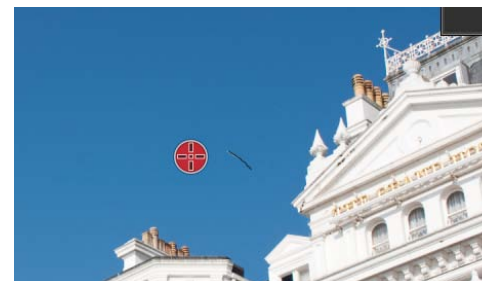
1 自動レタッチブラシパレットでブラシのサイズを調整します。



✓ ブラシのサイズについて

除去したいゴミに対してブラシのサイズが大きすぎると、他の部分にまで影響が出るおそれがあります。

2 マウスをクリックしたままゴミの部分になぞると、半透明の赤い色で塗りつぶされます。消したいゴミの部分をすべて塗りつぶしていることを確認してください。



3 マウスを放します。塗りつぶした部分が周囲にとけ込み、ゴミが取り除かれます。

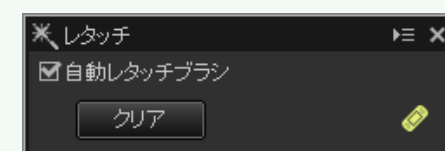


✓ 自動レタッチブラシについて

- 「自動レタッチブラシ」は、周囲から似た部分を自動的に塗りつぶした範囲に上書きコピーする機能です。このため、ゴミが広範囲に渡ったり、ドラッグする範囲が長かったり、大きなサイズのゴミの場合、うまく処理されないことがあります。
- 画像によっては、処理に時間がかかることがあります。

✓ レタッチパレットについて

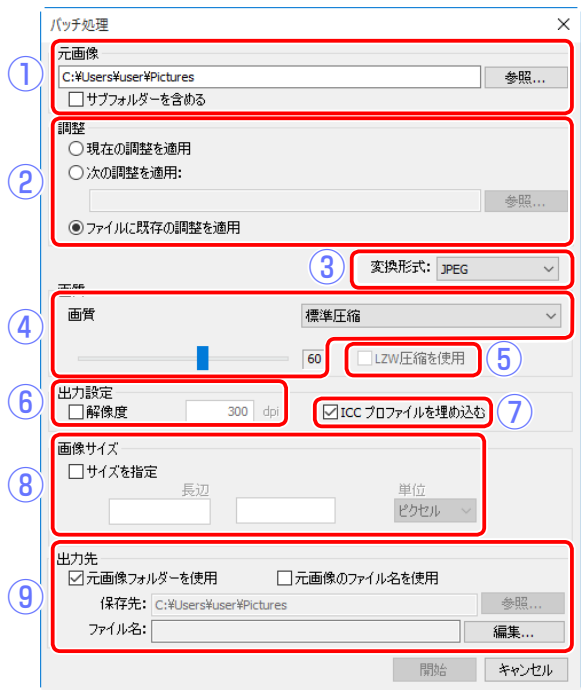
- ツールバーの「レタッチブラシ」または調整ボタンのをクリックすると、調整パレットに「レタッチ」が表示されます。
- 「自動レタッチブラシ」のチェックを外すと、自動レタッチブラシの効果を無効にできます。
- 「クリア」をクリックすると、自動レタッチブラシの効果をリセットします。



複数の画像に同じ処理を適用する（バッチ処理）

バッチ処理を行うと、同じフォルダ内にあるすべての画像に対して同じ処理を自動的に適用して、他の形式に変換します。

バッチ処理を行うには、[ファイル] メニューから [バッチ処理の実行] を選びます。



① 元画像	バッチ処理を適用するフォルダーを [参照] で選びます。[サブフォルダーを含める] にチェックを入れると、サブフォルダー内の画像にもバッチ処理が適用されます。
② 調整	バッチ処理として適用する処理内容を選びます。 ・[現在の調整を適用]：現在選ばれている画像に適用されている処理内容を [元画像] で選んだフォルダー内の画像に適用します。 ・[次の調整を適用]：[参照] で設定ファイル (P.36) を読み込んで、[元画像] で選んだフォルダー内の画像に適用します。 ・[ファイルに既存の調整を適用]：[元画像] で選んだフォルダー内の各画像に適用されている調整内容のまま、別形式に変換します。

③ 変換形式	変換する画像の形式を [JPEG]、[TIFF 8bit]、[TIFF 16bit] から選べます。
④ ([変換形式] で JPEG 選択時)	画像の圧縮率をプルダウンメニューまたはスライダーで設定できます。 ・数字が大きいほど画質が高く（圧縮率が低く）なり、数字が小さいほど画質が低く（圧縮率が高く）なります。
⑤ ([変換形式] で TIFF 選択時)	LZW 圧縮を使用 ❗ ご注意 TIFF 形式 (16-bit) ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。
⑥ 解像度	チェックを入れると、画像の解像度を変更できます。
⑦ ICC プロファイルを埋め込む	チェックを入れると、現在のカラープロファイルを画像に埋め込みます。
⑧ サイズを指定	チェックを入れると、画像サイズを拡大縮小できます。 ・[長辺] または [短辺] のテキストボックスにサイズを入力すると、縦横比を保ったままもう一方の数値が変更されます。 ・[単位] は [ピクセル]、[インチ]、[センチ] から選べます。
⑨ 出力先	バッチ処理で書き出したファイルの保存先やファイル名を設定できます。 ・[元画像フォルダーを使用] にチェックを入れると、[元画像] で選んだフォルダー内に書き出した画像を保存します。チェックを外した場合、[参照] で保存先のフォルダーを選べます。 ・[元画像のファイル名を使用] のチェックを入れると、元画像と同じ名前でも書き出した画像を保存します。同じ形式で書き出す場合、ファイルの末尾に番号が自動的に付与されます。チェックを外すと、[編集] を使用してファイル名を指定できます。

複数の画像に同じ処理を適用する（バッチ処理）

[開始] をクリックしてバッチ処理を開始すると、[処理状況] ダイアログが表示されます。[待機中] または [処理済み] のタブをクリックして切り換えられます。



待機中パネル

処理済みパネル

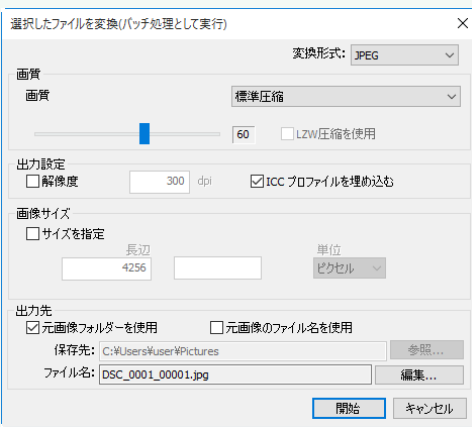
① 元画像	待機中、または処理済みのファイル名を表示します。
② 自動的に表示 / 非表示	チェックを外すと、バッチ処理を開始しても [処理状況] ダイアログが表示されなくなります。[処理状況] ダイアログを表示したい場合、ツールバーで [バッチ処理状況] をクリックしてください。
③ 削除	待機中パネルで元画像を選んでクリックすると、元画像のファイル名が削除されます。削除されたファイルには、バッチ処理が適用されません。処理済みパネルで元画像を選んでクリックすると、処理のログが削除されます。
④ フォルダー表示	[元画像] で選んだ、処理済みのファイルが保存されているフォルダーを OS 上で開きます。

ご注意

元画像に Capture NX または Capture NX 2 のプラグインソフト Color Efex Pro で編集された画像が含まれていた場合、ダイアログが表示され、その画像には処理が適用されません。

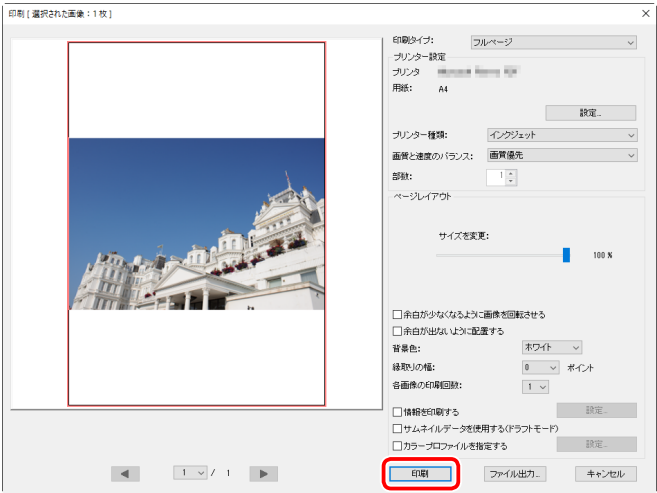
複数の画像を選んでファイル変換する

複数の画像を選んだ状態で [ファイル変換] (P.38) を行うと、バッチ処理として実行されます。前のページの表 ③ から ⑨ までの項目を設定して一括でファイルを変換できます。



画像を印刷する

パソコンに接続しているプリンターから画像を印刷できます。
[ファイル] メニューで [印刷] を選ぶと、印刷の設定ダイアログが表示されます。



プリンターの設定などを行い、[印刷] ボタンをクリックすると、プレビューされているレイアウトで印刷が開始されます。

印刷について

- ・[ファイル出力] ボタンをクリックすると、プレビューされているレイアウトの JPEG ファイルを保存できます。
- ・印刷の設定は、次の印刷時に、前回印刷した内容が保存されています。

印刷設定

印刷タイプ	・フルページ：用紙 1 枚に 1 つの画像を印刷します。 ・インデックスプリント：用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷します (P.46)。 ・標準写真サイズ：画像を規定のサイズに拡大または縮小して配置し、印刷します。規定のサイズを選んでください。用紙 1 枚あたりに配置される画像の数は、自動で設定されます。
-------	---

プリンター設定	プリンター	[設定] ボタンをクリックして、プリンターの設定を行ってください。設定した プリンター と 用紙 が表示されます。
	プリンター種類	プリンターの種類がインクジェットの場合は、[インクジェット] を選んでください。
	画質と速度のバランス	RAW 画像 (NEF/NRW) を印刷するときの設定です。[速度優先] にすると、RAW 画像に埋め込まれたプレビュー (簡易表示) を使用して印刷するため画質が [画質優先] に比べて、落ちてしまいます。
	部数	印刷する部数を選びます。
ページレイアウト	余白が少なくなるように画像を回転させる	規定の用紙の向きに合わせ、余白を少なくするよう画像を回転します。
	余白が出ないように配置する	余白が出ないように画像と用紙の中心を自動的に合わせ、はみ出した部分をトリミングします。
	背景色	余白を印刷する色を選びます。[白] を選ぶと、余白は印刷されません。
	縁取りの幅	配置した各画像のまわりに境界線を描くことができます。境界線の色は、[背景色] で選んだ色によって黒色または白色に自動的に設定されます。 0 を選ぶと境界線は印刷しません。
	各画像の印刷回数	同じ画像を繰り返し使用する回数を選びます。
	情報を印刷する	画像のファイル名や撮影日、撮影情報などを画像の下に配置して印刷します (P.45)。
	サムネイルデータを使用する (ドラフトモード)	画像のサムネイルデータを使って印刷を行います。印刷速度は速くなりますが、画質が低下します。画像によっては、チェックを入れても本画像を使用する場合があります。
	カラープロファイルを指定する	カラープロファイルの指定の設定を行います。[設定] ボタンをクリックすると、カラープロファイルの設定が行えます。 ・[プリンタープロファイル] で印刷する際に使用するプリンタープロファイルを設定します。 ・[マッチング手法] で画像に適用するマッチング手法を [知覚的] または [相対的な色域] から選びます (P.47)。

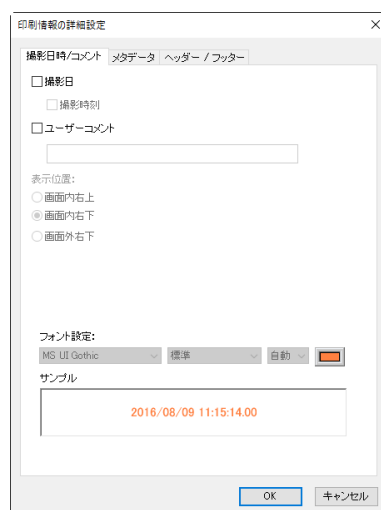
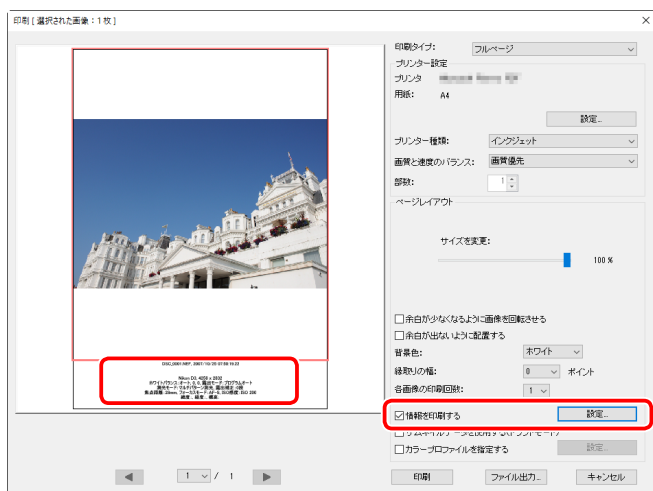


情報を印刷する

画像を印刷する際に、ファイル名や撮影日、撮影情報などを画像の下に印刷できます。

印刷の設定ダイアログにある「情報を印刷」にチェックを入れると（P.44）、印刷情報を付加して印刷できます。

「設定」ボタンをクリックして、印刷情報の設定を行ってください。



印刷情報設定

撮影日時／コメント	撮影日	撮影日が印刷されます。[表示位置] で印刷する位置を選んでください。
	撮影時刻	撮影した時刻も日付と併せて印刷されます。
	ユーザーコメント	ボックスに入力した任意の文字が印刷されます。
	フォント設定	印刷する撮影日（時刻）のフォントを設定します。フォント、太さ、サイズ、文字色を選んでください。
メタデータ	サンプル	設定した内容のサンプルが表示されます。
	各チェックボックス	チェックを入れた項目のメタデータが印刷されます。印刷できるのは、撮影情報の一部です。
	フォント設定	印刷するメタデータのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
ヘッダー／フッター	サンプル	設定した内容のサンプルが表示されます。
	ヘッダー	用紙の上部にタイトルなどのヘッダーが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
	ページ番号	ページ番号が印刷されます。表示する位置を選んでください。上部を選ぶとヘッダー内、下部を選ぶとフッター内に印刷されます。[総ページ数] にチェックを入れると、「n / 総ページ数」の形式で印刷されます。
	フッター	用紙の下部にフッターが印刷されます。テキストを入力し、印刷する位置を選んでください。
	フォント設定	印刷するヘッダー／フッターのフォントを設定します。フォント、太さ、サイズを選んでください。
	サンプル	設定した内容のサンプルが表示されます。

☑ 撮影情報の印刷についてのご注意

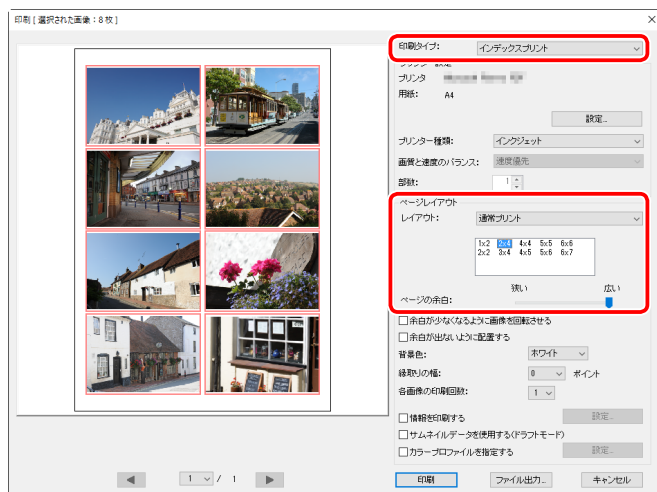
- レイアウトの設定で、「余白が少なくなるように画像を回転させる」にチェックを入れて画像の向きを変更したとき、撮影情報の向きは変更されません。
- 「メタデータ」タブで印刷指定した内容は、印刷領域によっては一部が印刷されない場合があります。



インデックスプリントで印刷する

用紙 1 枚に複数の画像を並べて印刷できます。

印刷設定の「印刷タイプ」で「インデックスプリント」を選ぶと (P.44)、「ページレイアウト」の内容が変更されて用紙に配置する画像の枚数やサイズも設定できます。



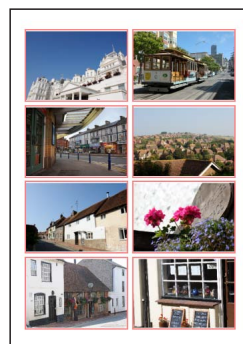
レイアウト

画像の並べ方は「レイアウト」で設定します。

■ 通常プリント

用紙に配置する画像の枚数を、一覧から選びます。

1 枚あたりの画像サイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。



2 × 4 の例

■ 画像サイズ

用紙に配置する画像の 1 枚あたりのサイズを指定して用紙に配置します。

画像サイズの「横」と「縦」に数値を入力します。配置される画像の数は、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。入力できる値は、最小値は 20.0mm、最大値は用紙の印刷可能領域の値です。

■ 列と行

用紙に配置する画像の列数、行数を指定して用紙に配置します。

画像を配置する「列」と「行」に数値を入力します。配置される画像 1 枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。入力できる値は、「列」、「行」とともに 1 から 10 までです。

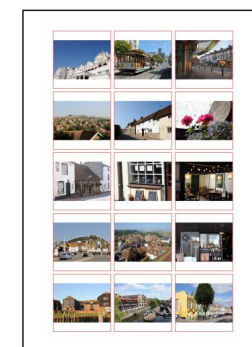
■ 枚 / ページ

用紙 1 ページに何枚の画像を配置するかをプルダウンメニューから選べます。

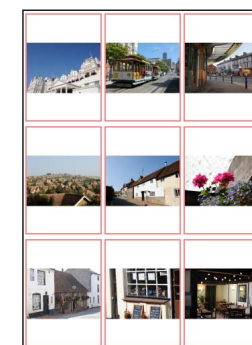
配置される画像 1 枚あたりのサイズは、用紙サイズに合わせて自動で設定されます。

ページの余白

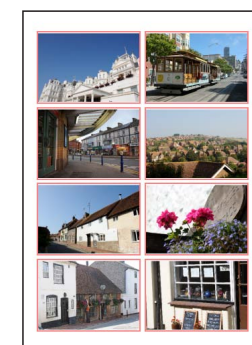
印刷時の余白をスライダーで設定できます。



50.0 mm × 50.0 mm の例



3 × 3 の例

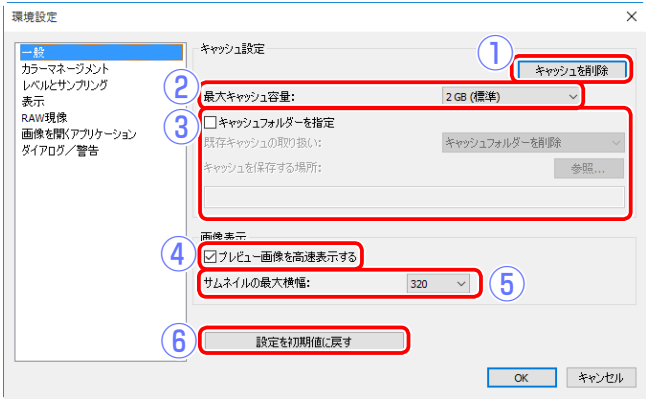


8 枚の例

環境設定を変更する

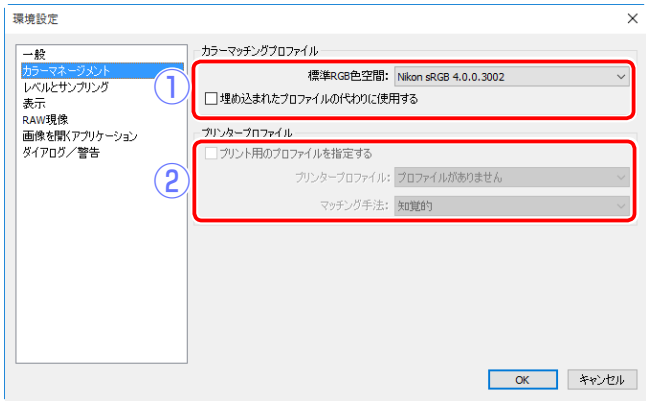
ユーザー独自の設定ができます。環境設定は〔編集〕メニュー（Macは〔Capture NX-D〕メニュー）の〔環境設定〕から表示できます。

一般



① キャッシュを削除	キャッシュを削除します。
② 最大キャッシュ容量	保存するキャッシュファイルのサイズ（容量）をプルダウンメニューから選べます。
③ キャッシュフォルダーを指定	キャッシュファイルを保存するフォルダを選べます。 ・〔既存キャッシュの取り扱い〕では、既存のキャッシュフォルダーの扱いを選べます。
④ プレビュー画像を高速表示する	チェックを入れると、画像調整を行った際にプレビュー用のデータを事前に生成して、プレビュー画像を高速表示できます。
⑤ サムネイルの最大横幅	サムネイル表示 (P.11) をする場合のサムネイル画像の最大幅を設定できます。
⑥ 設定を初期値に戻す	〔環境設定〕の〔一般〕で設定した項目を初期値に戻します。

カラーマネージメント

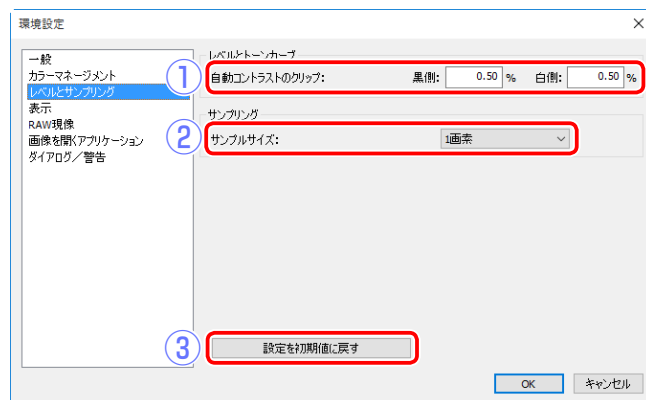


① 標準 RGB 色空間	画像で使用する標準 RGB 色空間を設定します。
② プリント用のプロファイルを指定する	チェックを入れると、プリンタープロファイルを使用して印刷します。 ・〔プリンタープロファイル〕で印刷する際に使用するプリンタープロファイルを設定します。 ・〔マッチング手法〕で画像に適用するマッチング手法を〔知覚的〕または〔相対的な色域〕から選びます。

マッピング手法について

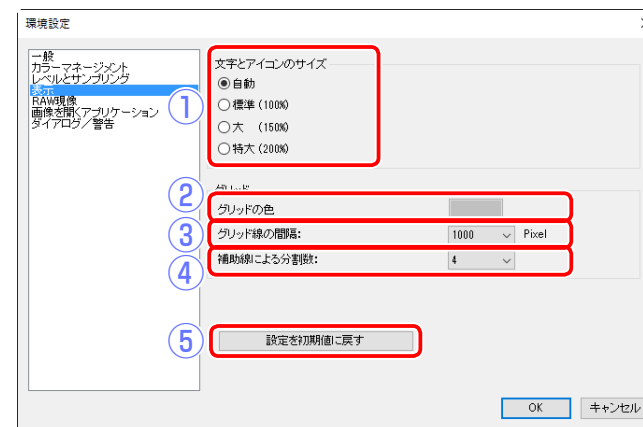
- ・〔知覚的〕：印刷した画像の配色が人間の目に自然に見えるよう、色の相対関係を維持するマッチング手法です。このマッチング手法を選択すると、色の関係性は保たれますが、画像の実際の色値は変更されます。
- ・〔相対的な色域〕：指定したプロファイルで設定されている色域外の色を本来の色に近づけるようにマッピングするマッチング手法です。このマッチング手法を選択すると、印刷を行うプリンターの対応範囲内の色はすべて正確に再現されます。

レベルとサンプリング



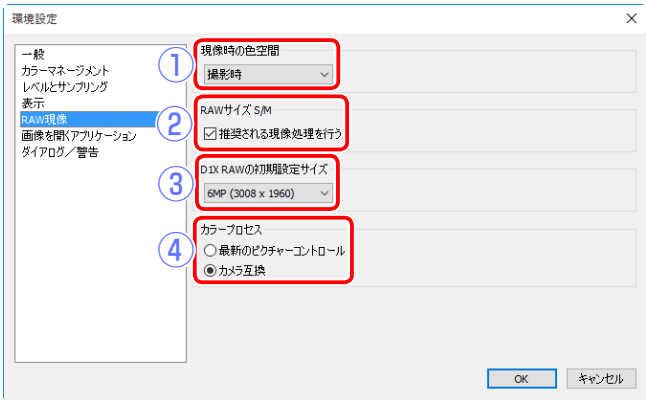
① 自動コントラストのクリップ	[レベルとトーンカーブ] (P.34) でシャドウまたはハイライトを使用する際、除外するもっとも暗いピクセルのパーセンテージを [黒側] で、除外するもっとも明るいピクセルのパーセンテージを [白側] で設定します。
② サンプルサイズ	[ホワイトバランス] のグレーポイントサンプルツール (P.22) または [レベルとトーンカーブ] (P.34) でスポイトツールを使用する際のサンプルサイズを [1 画素]、[3x3 画素平均] または [5x5 画素平均] から設定します。
③ 設定を初期値に戻す	[環境設定] の [レベルとサンプリング] で設定した項目を初期値に戻します。

表示



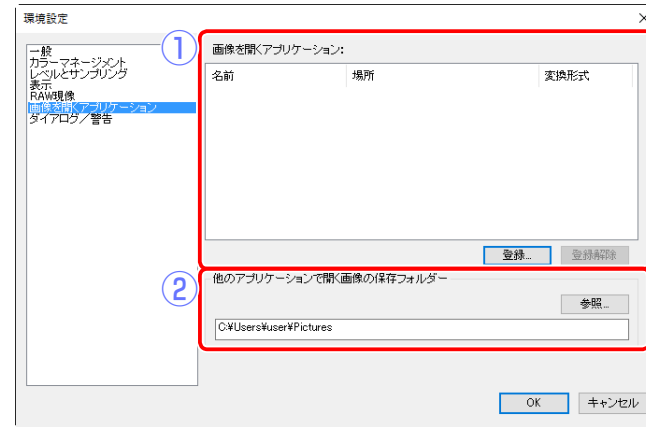
① 文字とアイコンのサイズ	パレットやメニューなどの、文字とアイコンの表示サイズを変更します。
② グリッドの色	表示するグリッドの色を設定します。
③ グリッド線の間隔	グリッドの間隔を設定します。
④ 補助線による分割数	主線グリッドの間に、破線の補助線を表示するように設定します。
⑤ 設定を初期値に戻す	[環境設定] の [表示] で設定した項目を初期値に戻します。

RAW 現像



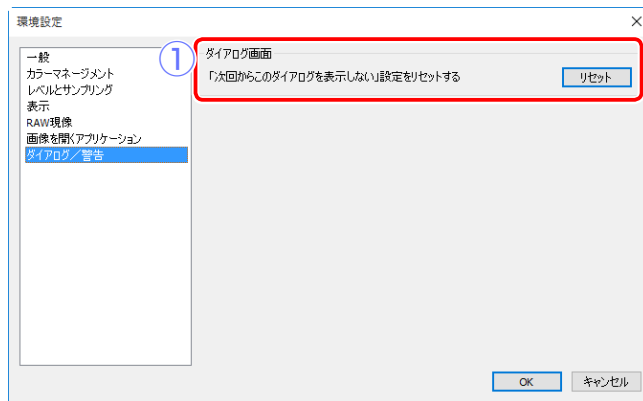
① RAW 現像時の色空間	RAW 画像を現像する場合に使用する色空間を設定します。
② RAW サイズ S/M	チェックを入れると、[サイズ S] または [サイズ M] の RAW 画像に対して推奨される現像処理をおこないます。
③ D1X RAW の初期設定サイズ	D1X で撮影した RAW 画像を表示する場合の、初期設定の画像ファイルサイズを設定します。[6MP(3008 × 1960)] と [10MP(4016 × 2616)] から選択します。
④ カラープロセス	画像に適用するカラープロセスを選べます。

画像を開くアプリケーション



① 画像を開くアプリケーション	[ファイル] メニューの [他のアプリケーションを使用して画像を開く] (P.51) で使用するアプリケーションを登録・削除できます。画像を他のアプリケーションで開く場合、登録時に設定した画像形式のファイルを作成してその画像を開きます。ファイル形式は [TIFF (16bit)]、[TIFF (8bit)] または [JPEG] から選択できます。
② 他のアプリケーションで開く画像の保存フォルダー	画像を他のアプリケーションで開く場合、アプリケーション登録時に設定した形式でファイルを作成してその画像を開きます。その作成したファイルを保存する場所を指定します。

ダイアログ / 警告



① ダイアログ画面

各ダイアログ画面の「次回からこのダイアログを表示しない」のチェックボックスを初期状態に戻します。[リセット]をクリックすると初期状態に戻ります。

メニューガイド

ファイルメニュー

新規フォルダー	現在表示しているフォルダー内に新規フォルダーを作成します。
フォルダー名の変更	現在表示しているフォルダーの名称を変更します。
Camera Control Pro 2 を起動	別売の Camera Control Pro 2 を起動します。
編集内容を同期	チェックを入れると、現在表示している画像が収められているフォルダーに新たに画像が追加された場合、現在表示している画像に適用されている調整が自動的に適用されます。
ViewNX-i で開く	現在選択している画像を ViewNX-i で表示します。Capture NX-D で調整を行った場合は、その調整も反映されます。RAW 画像の場合でも、TIFF 形式に変換せずにそのまま開けます。ViewNX-i がインストールされていない場合は選べません。
他のアプリケーションを使用して画像を開く	パソコンにインストールされている他の画像編集アプリケーションを使用して、現在選択している画像を表示します。使用するアプリケーションは [画像を開くアプリケーション] で追加できます (P.49)。
エクスプローラーで開く (Mac 版は [Finder に表示])	現在表示しているフォルダーを OS 上で表示します。
Picture Control Utility 2 を起動	Picture Control Utility 2 を起動します。
名前変更	現在選択している画像のファイル名を変更します。
ファイル変換	現在選択している画像をファイル変換します (P.38)。
バッチ処理の実行	バッチ処理 (P.42) を実行します。
ページ設定	プリンターの設定を行います。

ファイル(F)	
新規フォルダー	Ctrl+N
フォルダー名の変更	
Camera Control Pro 2を起動	
編集内容を同期	
ViewNX-iで開く	Ctrl+O
他のアプリケーションを使用して画像を開く	▶
エクスプローラーで開く	
Picture Control Utility 2を起動	
名前変更...	F2
ファイル変換...	Ctrl+E
バッチ処理の実行...	Ctrl+B
ページ設定...	Ctrl+Shift+P
印刷...	Ctrl+P
終了	Ctrl+Q

印刷	画像を印刷します (P.44)。
終了 (Windows のみ)	Capture NX-D を終了します。

Capture NX-D メニュー (Mac のみ)

Capture NX-D について	バージョンの確認ができます。
環境設定	Capture NX-D の 環 境 設 定 (P.47) を変更できます。
Capture NX-D を 終了	Capture NX-D を終了します。

Capture NX-D	
Capture NX-Dについて	
環境設定...	⌘,
サービス	
Capture NX-Dを隠す	⌘H
ほかを隠す	⇧⌘H
すべてを表示	
Capture NX-Dを終了	⌘Q

編集メニュー

元に戻す	1 つ前の状態に戻り、画像に対して行った変更や現在のダイアログ内での変更を取り消せます。
やり直し	[元に戻す] で戻された状態を再び適用できます。
切り取り / コピー / 貼り付け	現在選択している画像をカット / コピー / ペーストします。
削除	現在選択している画像を削除します。
すべて選択	サムネイルに表示されているすべての画像を選択します。
選択状態を反転	現在選択している画像を非選択に、非選択の画像を選択状態にします。
選択解除	すべての画像選択状態を解除します。
ファイルを選択	サブメニューで選んだ条件にあてはまる画像を選択状態にします。
環境設定 (Windows のみ)	Capture NX-D の環境設定 (P.47) を変更できます。

編集(E)	
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
削除	Delete
すべて選択	Ctrl+A
選択状態を反転	Ctrl+Shift+A
選択解除	
ファイルを選択	▶
環境設定...	Ctrl+K

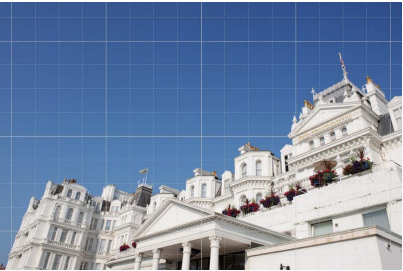
表示メニュー

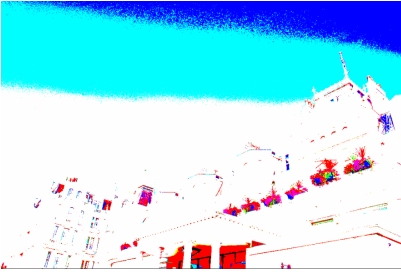
表示(V)	
フォルダー移動	▶
サムネイル	Alt+0
✓ イメージビューアー	Alt+9
プレビュー	P
全画面表示	F
編集結果比較	
2画像表示	
4画像表示	
サムネイルサイズ	▶
サムネイル表示順	▶
絞り込み...	Ctrl+F
ズームイン	Ctrl+ +
ズームアウト	Ctrl+ -
ウィンドウに合わせて全体表示	Ctrl+Alt+0
25%表示	
50%表示	Ctrl+Alt+5
100%表示	Ctrl+Alt+1
200%表示	
400%表示	

フォルダー移動	現在表示しているフォルダーを変更します。
サムネイル / イメージビューアー / プレビュー / 全画面表示	画像の表示方法 (P.11) を変更します。
編集結果比較 / 2 画像表示 / 4 画像表示	画像を比較表示 (P.14) できます。[4 画像表示] は、4GB 以上のメモリーを搭載した、64bit 版の Windows または Mac でお使いの場合のみ表示されます。
サムネイルサイズ	サムネイルの表示サイズ (P.11) を変更します。
サムネイル表示順	サムネイルの表示順をソートします。
絞り込み	レーティングやラベル、撮影時の情報など、特定の条件を使って表示する画像を絞り込みます (P.18)。
ズームイン / ズームアウト / ウィンドウに合わせて全体表示 / 25% 表示 / 50% 表示 / 100% 表示 / 200% 表示 / 400% 表示	プレビューの表示倍率を変更します。

画像メニュー

画像(I)	
次へ	→
前へ	←
90度回転(時計回り)	Ctrl+R
90度回転(反時計回り)	Ctrl+Shift+R
180度回転	
グリッドの表示	Ctrl+G
フォーカスポイント表示	Ctrl+Shift+F
白とび表示	Shift+H
黒つぶれ表示	Shift+S
ラベル設定	▶
レーティング設定	▶

次へ / 前へ	フォルダー内の画像の次または前の画像を表示します。
90 度回転（時計回り） / 90 度回転（反時計回り） / 180 度回転	画像の角度を変更します。
グリッドの表示	画像にグリッドを表示します。 
フォーカスポイント表示	撮影時のフォーカスポイントを表示します。 

白とび表示	画像の白とび（画像が非常に明るい部分＝値が255の部分）をRGBチャンネルごとに色別で表示します。 
黒つぶれ表示	画像の黒つぶれ（画像の非常に暗い部分＝値が0の部分）をRGBチャンネルごとに色別で表示します。 
ラベル設定 / レーティング設定	ラベル (P.17) またはレーティング (P.16) の設定を行います。

調整メニュー

撮影時の状態に戻す	調整をすべてリセットして、撮影時の状態に戻します。	調整(A) 撮影時の状態に戻す 最後に保存された状態に戻す 変更された調整をコピー すべての調整をコピー 調整を貼り付け 変更された調整を保存... すべての調整を保存... 調整を読み込み... Ctrl+Shift+C Ctrl+Shift+V Ctrl+Shift+S Ctrl+Shift+O
最後に保存された状態に戻す	調整ファイル (P.4) の内容がリセットされ、Capture NX-D で行った調整が削除されます。	
変更された調整をコピー	調整の値を変更した項目のみ設定をコピーします。コピーされる項目は、対象の画像が含まれるフォルダーを選んでから行った調整のみとなります。一度他のフォルダーを選ぶと、それまで行っていた調整の値はコピーできません。	
すべての調整をコピー	すべての項目の設定をコピーします。	
調整を貼り付け	[変更された調整をコピー] または [すべての調整をコピー] でコピーした調整を画像に適用します。	
変更された調整を保存	調整の値を変更した項目のみ、設定をひとつの設定ファイルとして保存します。保存される項目は、対象の画像が含まれるフォルダーを選んでから行った調整のみとなります。一度他のフォルダーを選ぶと、それまで行っていた調整の値は保存できません。	
すべての調整を保存	すべての項目の設定を、ひとつの設定ファイルとして保存します。	
調整を読み込み	設定ファイルを読み込んで、調整を適用します。	

【撮影時の状態に戻す】について

Capture NX 2 や ViewNX 2 で調整を行った TIFF または JPEG 画像の場合、[撮影時の状態に戻す] を実行しても [最後に保存された状態に戻す] と同じ結果になります。

ツールメニュー

フィット表示	画面上をダブルクリックすると、100%表示とフィット表示を切り換えます。	ツール(T) ✓フィット表示 コンビネーションツール ズームツール ハンドツール グレーポイントサンブルツール クロップツール 傾き補正ツール 自動レタッチブラシツール E M Z H W C R B
コンビネーションツール	画面上をダブルクリックすると、100%表示とフィット表示を切り換えます。画面上をドラッグすると、画像の表示位置を変更できます。	
ズームツール	画面上をクリックすると拡大、Alt キー（Mac では option キー）をクリックすると縮小します。	
ハンドツール	画面上をドラッグすると、画像の表示位置を変更できます。	
グレーポイントサンブルツール	クリックしたピクセルをサンプリングして、そのピクセルがグレーになるように自動でホワイトバランスを調整します（ P.22 ）。	
クロップツール	クロップツールを使用できます（ P.39 ）。	
傾き補正ツール	傾き補正ツールを使用できます（ P.32 ）。	
自動レタッチブラシツール	画像内に写り込んだホコリやゴミなどを取ることができます（ P.41 ）。	

ウィンドウメニュー

ヒストグラム / エディット / メタデータ / ナビゲーター / フォルダー	各パレットの表示 / 非表示を切り換えます。	ウィンドウ(W) ✓ヒストグラム ✓エディット ✓メタデータ ✓ナビゲーター ✓フォルダー ✓ツールバーを表示 ✓ステータスバーを表示 ✓パレットを表示 ツールバー表示モード Ctrl+T Ctrl+I Tab
ツールバーを表示	ツールバーの表示 / 非表示を切り換えます。	
ステータスバーを表示	ステータスバーの表示 / 非表示を切り換えます。	
パレットを表示	すべてのパレットの表示 / 非表示を切り換えます。	
ツールバー表示モード	ツールバー（ P.9 ）の表示を切り換えます。	

ヘルプメニュー

Capture NX-D ヘルプ	ヘルプを表示します。	ヘルプ(H) Capture NX-D ヘルプ ソフトウェアのアップデート Capture NX-Dについて F1
ソフトウェアのアップデート	Capture NX-D の更新情報を確認できます。	
Capture NX-D について (Windows のみ)	バージョンの確認ができます。	

ニコン カスタマーサポートセンターについて

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング／サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。